

モバイルモジュール更新ツール

このマニュアルは、モバイルモジュール更新ツールを利用してモジュール更新システムを構築し、また構築したシステムの運用などを行う“開発者向け及び業務管理者向けソフトウェア解説書”です。

このソフトウェアおよびマニュアルの、一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
このマニュアルの著作権はカシオ計算機株式会社に帰属します。
本書中に含まれている画面表示は、実際の画面とは若干異なる場合があります。予めご了承ください。

© 2010 カシオ計算機株式会社

Microsoft, MS, ActiveSync, Active Desktop, Outlook, Windows, Windows NT, および Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Microsoft 社の製品は、OEM 各社に、Microsoft Corporation の 100%出資子会社である Microsoft Licensing, Inc.によりライセンス供与されています。

目次

1.	1
1.1	1
1.2	2
1.3	3
1.3.1	3
1.3.2	4
1.4	5
2.	6
2.1	6
2.2	7
2.2.1	FTP	7
2.2.2	HTTP	8
2.2.3	LMWLN	9
2.2.4	10
2.3	11
2.3.1	HTTP/FTP	11
2.3.2	11
2.3.3	LMWLN	11
3.	12
3.1	(MbConfig.xml).....	12
3.1.1	14
3.1.2	15
3.1.3	16
3.1.4	22
3.1.5	23
3.1.6	23
3.2	(* .xml).....	24
3.2.1	25
3.2.2	26
3.2.3	27
3.2.4	29
3.3	(MbConfig.log).....	30
3.4	31
3.4.1	31
4.	32
4.1	32
4.2	33
4.2.1	33
4.2.2	35
4.2.3	36
4.3	37
4.4	38
4.5	39
4.6	40
4.7	41

4.8	42
4.8.1	44
4.8.2	45
4.9	CAB/Setup.exe	46
4.10	47
4.10.1	47
4.10.2	HTTP	48
4.10.3	FTP	48
4.10.4	49
4.10.5	LMWN	50
5.	API.....	51
5.1	51
5.1.1	MbUpGetNeedUpdate.....	54
5.1.2	MbUpGetCommunicationRoute.....	55
5.1.3	MbUpSetCommunicationRoute.....	56
5.1.4	MbUpGetFtpServerName.....	57
5.1.5	MbUpSetFtpServerName.....	58
5.1.6	MbUpGetFtpServerAddress.....	59
5.1.7	MbUpSetFtpServerAddress.....	60
5.1.8	MbUpGetFtpLoginUser.....	61
5.1.9	MbUpSetFtpLoginUser.....	62
5.1.10	MbUpGetFtpLoginPassword.....	63
5.1.11	MbUpSetFtpLoginPassword.....	64
5.1.12	MbUpGetHTTPServerURL	65
5.1.13	MbUpSetHTTPServerURL.....	66
5.1.14	MbUpGetLMWnDevice.....	67
5.1.15	MbUpSetLMWnDevice.....	68
5.1.16	MbUpGetLMWnServerAddress.....	69
5.1.17	MbUpSetLMWnServerAddress.....	70
5.1.18	MbUpGetLMWnComSetting.....	71
5.1.19	MbUpSetLMWnComSetting.....	72
5.1.20	MbUpGetSaveBackupDataPath.....	73
5.1.21	MbUpSetSaveBackupDataPath.....	74
5.1.22	MbUpGetInstallFileInformation.....	75
5.1.23	MbUpReadConfig.....	76
5.1.24	MbUpReadLocalConfig.....	77
5.1.25	MbUpWriteConfig.....	78
5.1.26	MbUpGetErrorMessage.....	79
5.1.27	MbUpSetStoreCode.....	80
5.1.28	MbUpSetHTCode.....	81
5.1.29	MbUpGetNeedUpdateEx.....	82
5.1.30	MbUpGetCommunicationRouteEx.....	83
5.1.31	MbUpSetCommunicationRouteEx.....	84
5.1.32	MbUpGetFtpServerAddressEx.....	85
5.1.33	MbUpSetFtpServerAddressEx.....	86
5.1.34	MbUpGetFtpLoginUserEx.....	87
5.1.35	MbUpSetFtpLoginUserEx.....	88
5.1.36	MbUpGetFtpLoginPasswordEx.....	89
5.1.37	MbUpSetFtpLoginPasswordEx.....	90

5.1.38	MbUpGetHTTPServerURLEx.....	91
5.1.39	MbUpSetHTTPServerURLEx.....	92
5.1.40	MbUpGetSharedServerAddressEx.....	93
5.1.41	MbUpSetSharedServerAddressEx.....	94
5.1.42	MbUpGetSharedLoginUserEx.....	95
5.1.43	MbUpSetSharedLoginUserEx.....	96
5.1.44	MbUpGetSharedLoginPasswordEx.....	97
5.1.45	MbUpSetSharedLoginPasswordEx.....	98
5.1.46	MbUpGetLMMInDeviceEx.....	99
5.1.47	MbUpSetLMMInDeviceEx.....	100
5.1.48	MbUpGetLMMInServerAddressEx.....	101
5.1.49	MbUpSetLMMInServerAddressEx.....	102
5.1.50	MbUpGetLMMInComSettingEx.....	103
5.1.51	MbUpSetLMMInComSettingEx.....	104
5.1.52	MbUpGetLMMInRoutePathEx.....	105
5.1.53	MbUpSetLMMInRoutePathEx.....	106

1.

本アプリケーションを利用することで、モバイルネットワーク環境において端末側のデータを自動更新することができます。

- ユーザーアプリケーションおよびデータを、簡単にかつ効率的に更新
- 端末上でのアプリケーションおよびデータバージョンの一元管理が可能

1.1

本アプリケーションの対象を以下に示します。

HT:DT-5100/5200/DT-X7/DT-5300(CE)/DT-5300(WM)/DT-X8/IT-300
PC:IBM PC/AT 互換機

※ WindowsMobile では、実行モジュール (CAB,EXE,DLL 等) に適切な署名が付与されている必要があります。)

OS

HT:Windows CE.NET 4.1 以降※
PC:Windows 2000 Pro+SP4 以降/Windows XP Pro+SP2 以降

※ DT-5100 の場合、「デバイス抽象化ライブラリ」および「モバイルアプリケーション部品」をインストールしている必要があります。

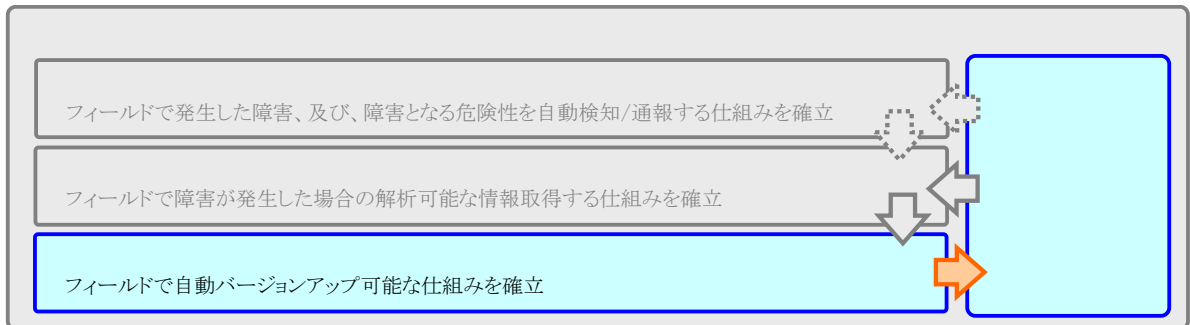
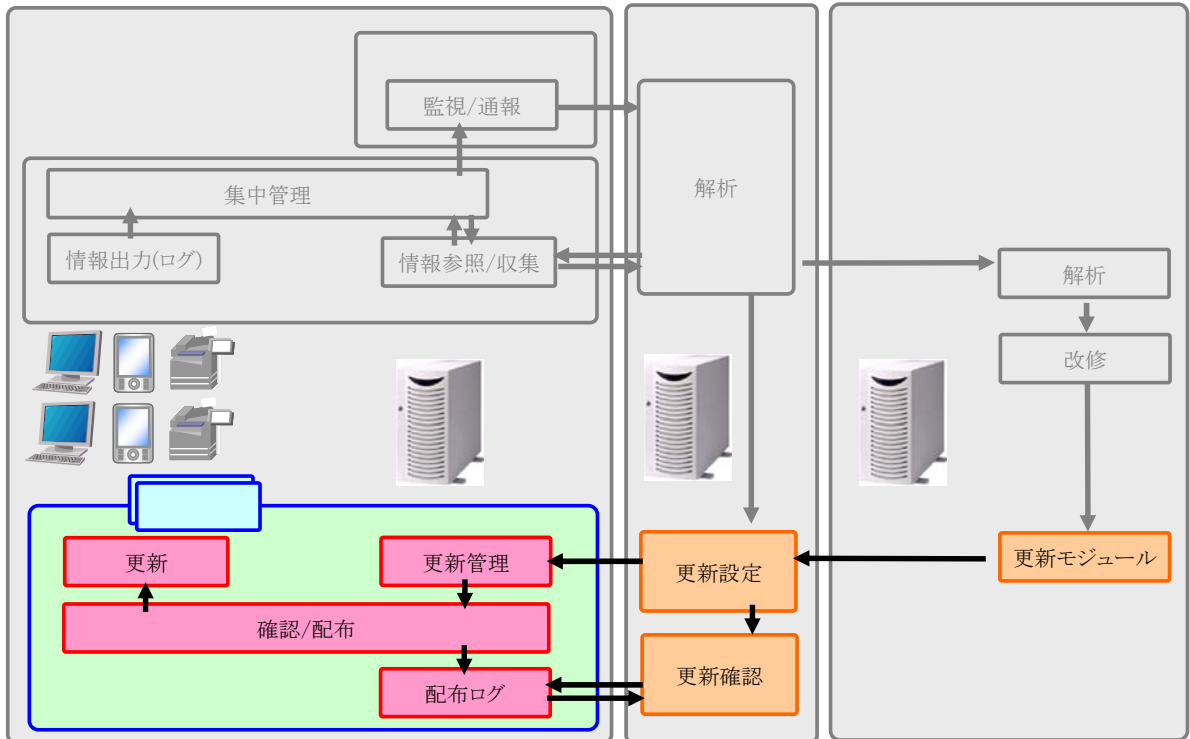
OS

OS:Windows 2000 Professional/Windows 2000 Server/Windows Server 2003/Windows Server 2008/Windows 7
Web サーバ:IIS 5.0 ソフトウェア
FTP サーバ:端末から接続できる FTP サーバ
LMWIN:Ver6.10 以降

HTTP/FTP/LMWIN/共有フォルダ

1.2

本ツールの位置付けを以下に示します。



本ツールは、フィールド保守システムにおける「自動更新機能」を提供します。

1.3

本ツールで提供する機能を以下に示します。

1.3.1

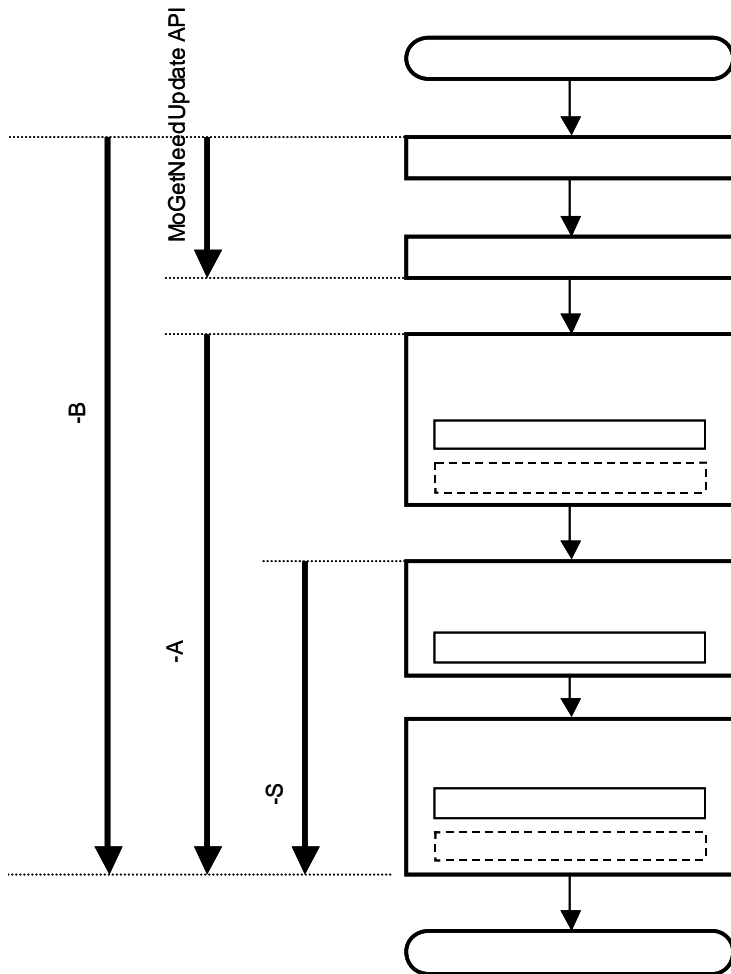
機能	概要	端末	
		HT	PC
更新設定情報同期			
更新設定情報ダウンロード	サーバから更新設定情報ファイルをダウンロード	○	○
更新設定情報内容比較	更新設定情報ファイル内の差分情報を抽出	○	○
更新設定情報差分保存	抽出した差分情報を反映して保存 差分が抽出されなかった場合は、何もしません	○	○
カタログ情報同期			
カタログ情報ダウンロード	更新設定情報に従い、サーバからカタログ情報ファイルをダウンロード	○	○
カタログ情報内容比較	カタログ情報ファイル内の差分情報(モジュールの追加/更新情報)を抽出	○	○
カタログ情報差分保存	抽出した差分情報をもとに、更新指示ファイルを作成 差分が抽出されなかった場合は、何もしません	○	○
モジュール更新			
モジュールダウンロード	更新指示ファイルの情報に従い、サーバから更新対象モジュールをダウンロード	○	○
モジュール配置	更新指示ファイルの情報に従い、更新対象モジュールをターゲットに配置	○	○
モジュール実行	更新指示ファイルの情報に従い、更新対象モジュールを実行(実行完了まで待機)	○	○
モジュール削除	更新指示ファイルの情報に従い、更新対象モジュールを削除	○	○
更新情報保存			
更新結果情報保存	更新結果(モジュール/バージョン/更新日付)を更新結果ファイルに保存	○	○
更新結果情報アップロード	更新結果ファイルから更新結果ログファイルを作成し、サーバにアップロード	○	○

1.3.2

機能	概要	端末	
		HT	PC
更新状況表示			
動作内容表示	更新情報設定／カタログ／モジュールそれぞれのダウンロード／比較／配置／実行／削除の状況をリアルタイムに表示	○	○
動作対象プログレス表示	更新処理の実行状況をプログレス表示 全体更新対象数と処理済対象数をリアルタイムに表示	○	○
通信/処理インジケータ表示	通信中(ダウンロード/アップロード)および処理中(各種更新処理)をインジケータにて表示	○	○
動作中モジュール更新(CopyToWork)			
スタートアップ内容退避(HT)	動作中(の可能性がある)モジュールの起動を抑制するために、スタートアップ登録のショートカットファイルを退避	○	
更新ツールショートカット作成(HT)	次回リセット後処理に備え、本ツール自身をスタートアップに登録	○	
更新ツールレジストリ登録(PC)	次回リセット後処理に備え、本ツール自身をレジストリ RunOnce に登録		○
端末ソフトリセット(HT) ／端末再起動(PC)	端末を自動的にリセット／再起動	○	○
スタートアップ内容復元(HT)	リセット後処理完了後、退避したスタートアップ内容を復元	○	
動作環境確認			
電池残量確認	電池残量を確認 残量が“OK”の状態であれば、警告を表示して処理を中止	○	
無線強度確認	伝送経路が HTTP／FTP／共有フォルダ／LMWIN(LAN)の場合に、無線強度を確認 無線強度が 40%未満の場合、警告を表示し、40%以上の強度が得られるまで待機	○	
サーバ存在確認	伝送経路が HTTP／FTP／共有フォルダ／LMWIN(LAN)の場合に、ダウンロード／アップロード対象のサーバの存在を確認 ICMP パケットを送出し、結果を判定 サーバからの応答がない場合には、警告を表示して処理を中止	○	
更新設定情報操作			
情報取得	API による、更新設定情報の取得	○	○
情報設定	API による、更新設定情報の設定	○	○
カタログ情報操作			
更新情報取得	API による、更新要/不要情報の取得	○	○
インストール			
インストール／アンインストール	インストール／アンインストール	○	

1.4

本ツールの処理概要フローを以下に示します。



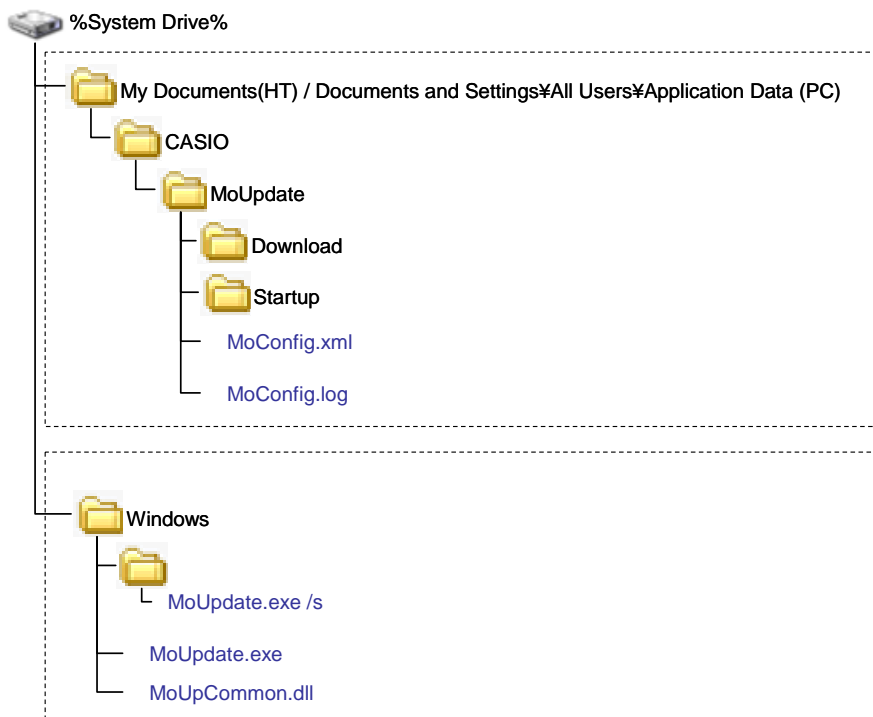
※ スタートアップ内容退避／復元は HT のみ行います。

番号	機能項目	機能概要
①	更新設定同期処理	更新設定ファイルのサーバ/端末間同期 詳細は「4.3更新設定同期」を参照
②	カタログ更新処理	カタログファイルのサーバ/端末間同期 詳細は「4.4カタログファイル更新」を参照
③	モジュール更新処理	モジュールダウンロードおよび配置 詳細は「4.5モジュール更新」を参照
④	動作中モジュール更新処理	動作中モジュール更新の配置 詳細は「4.6動作中モジュール更新」を参照
⑤	更新完了処理	更新結果ログファイルを作成、サーバにアップロード 詳細は「4.7更新完了処理」を参照

2.

2.1

本ツールの端末フォルダ構成を以下に示します。



番号	項目	内容
①	Download フォルダ	サーバよりダウンロードした各種ファイルを格納 本フォルダが実行時に存在していない場合には、自動的に作成
②	Startup フォルダ (HT)	CopyToWork 動作時に、既存スタートアップ内容を退避するテンポ ラリフォルダ 本フォルダが実行時に存在していない場合には、自動的に作成
③	MoConfig.xml	サーバへの接続方法／更新すべきカタログ名等、モジュール更新 システムの設定情報を格納するファイル
④	MoConfig.log	更新済みモジュールの情報を格納するファイル 更新の要／不要判定、および更新ログファイルの生成に使用 本ファイルが存在していない場合には、更新カタログファイルに記 載のすべてのモジュールが更新対象
⑤	MoUpdate.exe	モジュール更新ツール本体
⑥	MoUpCommon.dll	モジュール更新外部提供 API ライブラリ
⑦	MoUpdate.exe /s ショ ートカット (HT)	更新後処理用ショートカット 動作中モジュール更新(CopyToWork 動作)時に生成し、処理完了 後削除

PC ではショートカットを使用せず、以下のレジストリに登録します。

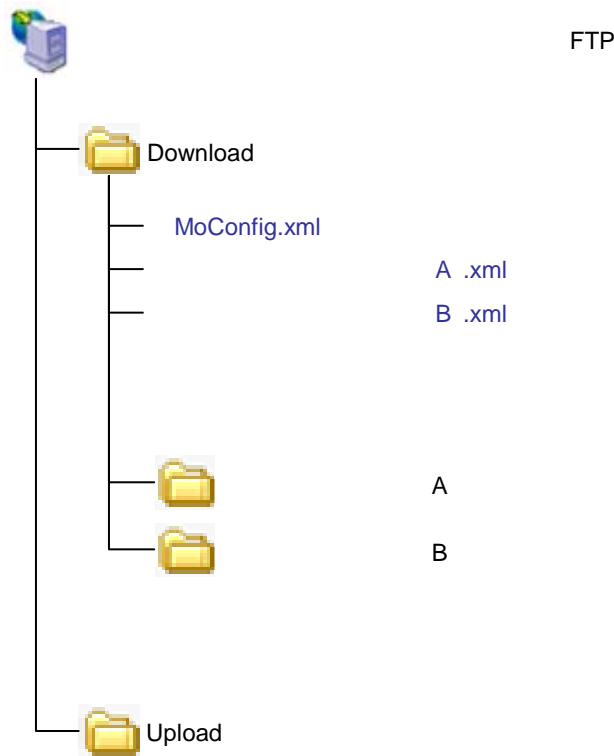
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥RunOnce

RunOnce に登録できないモジュールについては対象外になります。

2.2

本ツールのサーバフォルダ構成を以下に示します。

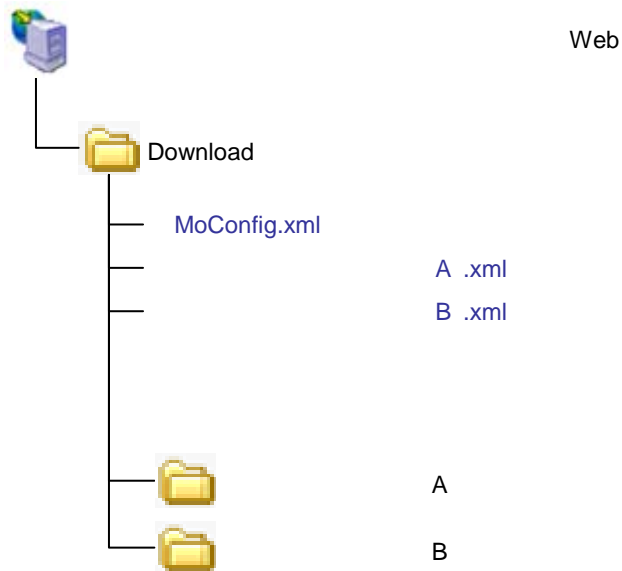
2.2.1 FTP



番号	項目	内容
①	Download 用ルートフォルダ	モジュール更新システム Download 用に公開するフォルダ モジュール更新システム構築時に最初に参照する更新設定ファイルや、更新対象となるカタログファイルを格納
②	MoConfig.xml	更新先への接続方法／更新すべきカタログ名等、モジュール更新システムの設定情報を格納するファイル
③	カタログファイル.xml	MoConfig.xml で定義したカタログファイル
④	モジュール格納フォルダ	各カタログファイルで定義したフォルダ 更新対象となるモジュールを格納
⑤	Upload 用ルートフォルダ	モジュール更新システム Upload 用に公開するフォルダ 各端末から本サイトに対して更新ログの Upload

2.2.2

HTTP

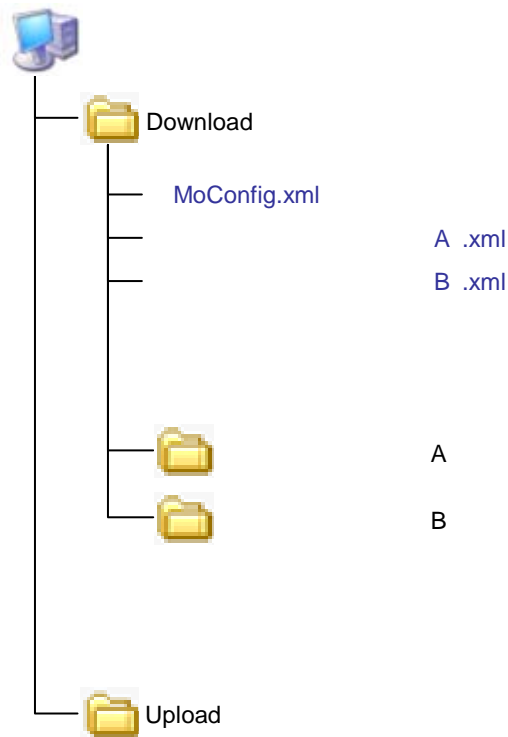


番号	項目	内容
①	Download 用ルートフォルダ	モジュール更新システム Download 用に公開するフォルダ モジュール更新システム構築時に最初に参照する更新設定ファイルや、更新対象となるカタログファイルを格納
②	MoConfig.xml	更新先への接続方法／更新すべきカタログ名等、モジュール更新システムの設定情報を格納するファイル
③	カタログファイル.xml	MoConfig.xml で定義したカタログファイル
④	モジュール格納フォルダ	各カタログファイルで定義したフォルダ 更新対象となるモジュールを格納

※ HTTP による UPLOAD は不可

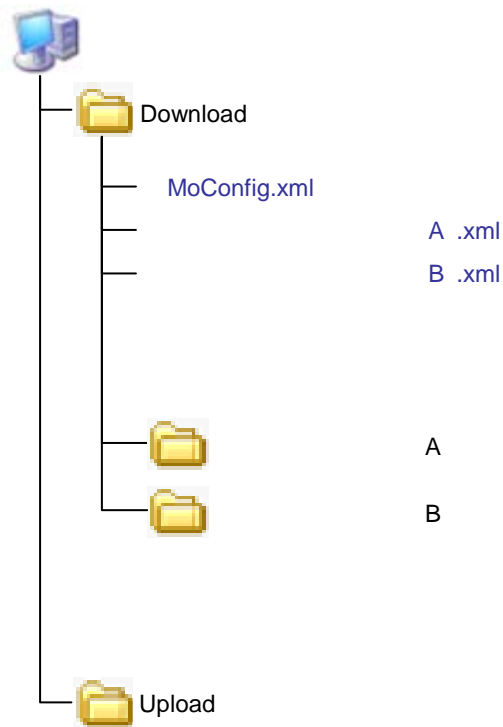
2.2.3

LMMN



番号	項目	内容
①	Download 用フォルダ	モジュール更新システム Download 用に公開するフォルダ モジュール更新システム構築時に最初に参照する更新設定ファイルや、更新対象となるカタログファイルを格納
②	MoConfig.xml	更新先への接続方法／更新すべきカタログ名等、モジュール更新システムの設定情報を格納するファイル
③	カタログファイル.xml	MoConfig.xml で定義したカタログファイル
④	モジュール格納フォルダ	各カタログファイルで定義したフォルダ 更新対象となるモジュールを格納
⑤	Upload 用フォルダ	モジュール更新システム Upload 用に公開するフォルダ 各端末から本サイトに対して更新ログの Upload

2.2.4



番号	項目	内容
①	Download 共有フォルダ	モジュール更新システム Download 用に公開するフォルダ モジュール更新システム構築時に最初に参照する更新設定ファイルや、更新対象となるカタログファイルを格納
②	MoConfig.xml	更新先への接続方法／更新すべきカタログ名等、モジュール更新システムの設定情報を格納するファイル
③	カタログファイル.xml	MoConfig.xml で定義したカタログファイル
④	モジュール格納フォルダ	各カタログファイルで定義したフォルダ 更新対象となるモジュールを格納
⑤	Upload 用共有フォルダ	モジュール更新システム Upload 用に公開するフォルダ 各端末から本サイトに対して更新ログの Upload

HT で **upload** 用共有フォルダは、共有フォルダのサブフォルダでなく共有のルートフォルダにしてください。

○: %%UPDATESVR%Log

×: %%UPDATESVR%Date%Log

2.3

本ツールのサーバ設定手順を以下に示します。

2.3.1 HTTP/FTP

1. 初期インストール用フォルダを作成し、プログラムアップデートシステムの一式をコピーします。
2. スペックファイルを運用する環境に合わせて編集し、同フォルダへ配置します。
この際、初期インストール以降はアップデート用の別フォルダへ接続することになるので、FTP の場合は、`FtpServerAddress`、`FtpLoginUser`、`FtpLoginPassword` をそれに応じた設定に編集します。
3. HTTP の場合は、`HttpServerAddress`、をそれに応じた設定に編集します。

Windows Server 2003 の場合、以下の手順で IIS 動作の追加設定を行う必要があります。

4. インターネットインフォメーションサービスマネージャーで、Web サービス拡張を選択し、ActiveServer Pages に許可を与えます。
5. インターネットインフォメーションサービスマネージャーで、仮想フォルダのプロパティを開き、HTTP ヘッダータブの MIME の種類に拡張子“ini”、MIME の種類”ini ファイル”と拡張子“dat”、MIME の種類”dat ファイル”を追加します。

2.3.2

1. 初期インストール用フォルダを作成し、プログラムアップデートシステムの一式をコピーします。
2. スペックファイルを運用する環境に合わせて編集し、同フォルダへ配置します。
3. 同フォルダのプロパティより、共有設定を行います。
4. アクセス権限を使用環境に応じた設定にします。

2.3.3 LMWIN

1. 初期インストール用フォルダを作成し、プログラムアップデートシステムの一式をコピーします。
2. スペックファイルを運用する環境に合わせて編集し、同フォルダへ配置します。
3. スタート>プログラム>LMWIN32 を起動します。

3.

ツールで使用するスペックファイルを以下に示します。
なお、注釈がない限り記載内容の大文字／小文字は区別しません。

3.1 (MbConfig.xml)

更新設定ファイルとは、サーバへの接続方法／更新すべきカタログ名等、本ツールの設定情報を格納するXMLファイルです。

エンコードは ShiftJIS を基本とするが、XML ヘッダ情報に適切に記載することで、以下のエンコードも読み込みを可能です。

```
ShiftJIS    <?xml version="1.0" encoding="shift_jis" standalone="yes" ?>
UTF-8      <?xml version="1.0" encoding="utf-8" standalone="yes" ?>
UTF-16     <?xml version="1.0" encoding="utf-16" standalone="yes" ?>
```

更新設定ファイルは、以下の 4 ブロックから構成されています。

スペックバージョンブロック	"SpecVer"
識別情報ブロック	"identities"
ダウンロード伝送情報ブロック	"download"
アップロード伝送情報ブロック	"upload"
カタログ情報ブロック	"VerFile"

```
<?xml version="1.0" encoding="shift_jis" standalone="yes" ?>
<sysconf battery="電池残量表示フラグ"
  batterylevel="電池残量"
  wlan="無線強度表示フラグ"
  wlanlevel="無線強度"
  nouupdate="更新不要時自動クローズフラグ"
  complete="動作完了時自動クローズフラグ">
  <SpecVer>スペックバージョンブロック</SpecVer>
  <identities>
    識別情報ブロック
  </identities>
  <download>
    ダウンロード伝送情報ブロック
  </download>
  <upload>
    アップロード伝送情報ブロック
  </upload>
  <VerFile>
    カタログ情報ブロック
  </VerFile>
</sysconf>
```

電池残量確認ダイアログの表示/非表示を以下のパラメータで指定してください。

"yes" :電池残量確認ダイアログを表示

"no" :電池残量確認ダイアログを非表示

本指定を省略した場合は、"yes"を指定したものとして扱います。

電池残量確認ダイアログを表示する電池レベルを以下のパラメータで指定してください。

【電池残量を%で取得可能な機種】

"1" :0% ≤ 電池残量 < 25%

"2" :25% ≤ 電池残量 < 50%

"3" :50% ≤ 電池残量 < 75%

"4" :75% ≤ 電池残量 ≤ 100%

【電池残量を%で取得不可能な機種】

"1" :残りわずか

"2" :低

"3" :OK

"4" :-

本指定を省略した場合は、"2"を指定したものとして扱います。

電池残量表示が"yes"設定の場合に、この情報を使用します。

無線強度確認ダイアログの表示/非表示を以下のパラメータで指定してください。

"yes" :無線強度確認ダイアログを表示

"no" :無線強度確認ダイアログを非表示

本指定を省略した場合は、"yes"を指定したものとして扱います。

無線強度確認ダイアログを表示する無線強度を以下のパラメータで指定してください。

"1" :0% ≤ 無線強度 < 25%

"2" :25% ≤ 無線強度 < 50%

"3" :50% ≤ 無線強度 < 75%

"4" :75% ≤ 無線強度 ≤ 100%

本指定を省略した場合は、"2"を指定したものとして扱います。

無線強度表示が"yes"設定の場合に、この情報を使用します。

更新不要時の確認ダイアログの自動クローズを以下のパラメータで指定してください。

“yes” :ダイアログを1秒後に自動クローズ

“no” :ダイアログを自動クローズしません

本指定を省略した場合は、“no”を指定したものとして扱います。

動作完了時の確認ダイアログの自動クローズを以下のパラメータで指定してください。

“yes” :ダイアログを1秒後に自動クローズ

“no” :ダイアログを自動クローズしません

本指定を省略した場合は、“no”を指定したものとして扱います。

3.1.1

スペックバージョンブロックとは、更新設定ファイルのバージョンを格納するブロックです。
スペックバージョンは“2”固定です。

```
<SpecVer>2</SpecVer>
```

3.1.2

識別情報ブロックとは、端末個体を識別する情報を格納するブロックです。

識別情報ブロックの書式を以下に示します。

```
<identities>
  <CodeCode>会社コード</CorpCode>
  <StoreCode>店舗コード</StoreCode>
  <HtNo>端末番号</HtNo>
  <SystemVer>システムバージョン</SystemVer>
</identities>
```

会社コードをフリーフォーマットで記載してください(省略可)。
本ツールでは、この情報を使用しません。

店舗コードをフリーフォーマットで記載してください(必須)。
本ツールでは、この情報を更新ログファイルのプレフィックスとして使用します。

端末番号をフリーフォーマットで記載してください(必須)。
本ツールでは、この情報を更新ログファイルのプレフィックスとして使用します。

店舗コード、端末番号は必須項目ですが、設定しない場合も本ツールは正常動作します。
ただし、この情報を更新ログファイル名称に使用しているため(「3.4.1 ログファイル名称」を参照)、PCに
集約する更新ログファイル名が同じになり、区別不能となります。

対象システムのバージョンを"99.9999.99"の形式で記載します(省略可)。
本ツールでは、この情報を使用しません。

3.1.3

ダウンロード伝送情報ブロックとは、更新設定情報ファイル／カタログファイル／対象モジュールをサーバからダウンロードする際に使用する伝送経路情報を格納するブロックです。

識別情報ブロックの書式を以下に示します。

```
<download>
  <Type>経路種類</Type>
  <ftp>
    FTP 経路詳細情報
  </ftp>
  <http>
    HTTP 経路詳細情報
  </http>
  <lmwin>
    LMWIN 経路詳細情報
  </lmwin>
  <share>
    共有フォルダ経路詳細情報
  </share>
</download>
```

1.

ダウンロードで使用する伝送経路の種類を以下のパラメータで指定してください(必須)。

“ftp” : FTP を使用
“http” : HTTP を使用
“lmwin” : LMWIN を使用
“share” : フォルダ共有を使用

2 FTP

伝送経路が FTP の場合の接続詳細情報を記載してください(経路種類が"ftp"の場合は必須です)。

```
<ftp>
  <service>サーバ URI</service>
  <user>ログインアカウント</user>
  <passwd>ログインパスワード</passwd>
</ftp>
```

URI

FTP サーバの公開フォルダ URI を記載してください(必須)。

例) UPDATESVR/data

FTP サーバにログインするアカウントを記載してください(省略可)。

FTP サーバにログインするパスワードを記載してください(省略可)。

【設定例】

マシン名	: updatesvr
FTP 公開フォルダエイリアス名	: data
接続権限	: upuser
パスワード	: casio

上記設定の場合、識別情報ブロックは以下のとおり記載してください。

```
<ftp>
  <service>updatesvr/data</server>
  <user>upuser</user>
  <passwd>casio</passwd>
</ftp>
```

3 HTTP

伝送経路が HTTP の場合の接続詳細情報を記載してください(経路種類が"http"の場合は、必須です)。

```
<http>
  <service>サーバURI</service>
</http>
```

URI

HTTP サーバの公開フォルダ URI を記載してください(必須)。

例) UPDATESVR/data

【設定例】

マシン名	:updatesvr
WEB 公開フォルダエイリアス名	:data

上記設定の場合、識別情報ブロックは以下のとおり記載してください。

```
<http>
  <service>updatesvr/data</server>
</http>
```


4. LMWIN

伝送経路が LMWIN の場合の接続詳細情報を記載してください(経路種類が"lmwin"の場合は、必須です)。

```
<lmwin>
  <FLType>LMWIN デバイス</FLType>
  <service>サーバ名</service>
  <FLCom>シリアル設定</FLCom>
  <FLRoot>ルートフォルダフルパス</FLRoot>
</lmwin>
```

LMWIN

LMWIN で使用するデバイスの種類を、以下のパラメータで指定してください(必須)。

"COM1" :シリアルを使用する
"IRDA" :赤外線を使用する
"LAN" :LAN(無縁 LAN 含む)を使用する
"USB" :USBを使用する

LMWIN デバイスに"LAN"を指定した場合の、接続サーバ名(あるいは IP アドレス)を記載してください。ネットワーク名称解決(DNS)が利用不可能な環境の場合には、IP アドレスを必ず記載してください。

LMWIN デバイスに"COM1"を指定した場合の、シリアル接続速度を以下のパラメータで指定してください。

"LMWin_B1200" :1200BPS
"LMWin_B2400" :2400BPS
"LMWin_B4800" :4800BPS
"LMWin_B9600" :9600BPS
"LMWin_B19K" :19200BPS
"LMWin_B38K" :38400BPS
"LMWin_B57K" :57600BPS
"LMWin_B115K" :115200BPS

LMWIN が外部公開するルートフォルダのフルパスを記載してください。

【設定例】

マシン名 :updatesvr
接続パス :c:¥data¥

※ 接続パスの末尾の¥がない場合は本ツールで補完します。

上記設定の場合、識別情報ブロックは以下のとおり記載してください。

```
<Imwin>  
  <FLType>LAN</FLType>  
  <service>updatesvr</service>  
  <FLCom></FLCom>  
  <FLRoot>c:¥data¥</FLRoot>  
</Imwin>
```

5

伝送経路がフォルダ共有の場合の接続詳細情報を記載してください。(経路種類が"share"の場合は、必須です)

```
<share>
  <service>サーバURI</service>
  <name>ログインアカウント</name>
  <passwd>ログインパスワード</passwd>
</share>
```

URI

共有フォルダの UNC を記載してください(必須)。

例) ¥¥UPDATESVR¥data

共有フォルダにログインするアカウントを記載してください(省略可)。

共有フォルダにログインするパスワードを記載してください(省略可)。

【設定例】

共有 PC マシン名	:updatesvr
共有フォルダ名	:data
アカウント	:upuser
パスワード	:casio

上記設定の場合、識別情報ブロックは以下のとおり記載してください。

```
<share>
  <service>updatesvr/data</server>
  <user>upuser</user>
  <passwd>casio</passwd>
</share>
```

3.1.4

アップロード伝送情報ブロックとは、更新結果ログファイルをサーバにアップロードする際に使用する伝送経路情報を格納するブロックです。

識別情報ブロックの書式を以下に示します。

```
<upload>
  <Type>経路種類</Type>
  <ftp>
    FTP 経路詳細情報
  </ftp>
  <http>
    HTTP 経路詳細情報
  </http>
  <lmwin>
    LMWIN 経路詳細情報
  </lmwin>
  <share>
    共有フォルダ経路詳細情報
  </share>
</upload>
```

記載内容は、「3.1.2 識別情報ブロック」と同一です。

3.1.5

カタログ情報ブロックとは、更新対象モジュールの情報を記載したカタログファイルの名称情報を格納するブロックです。

カタログファイルを複数記載して、順次モジュール更新を実行することを可能になります。

カタログ情報ブロックの書式を以下に示します。

```
<VerFile>
  <VerFileName>カタログファイル名</VerFileName>
  <VerFileName>カタログファイル名</VerFileName>
  <VerFileName>カタログファイル名</VerFileName>
  :
  :
</VerFile>
```

更新対象モジュールの情報を記載したカタログファイルの名称を記載します。

例) SYSTEM.xml

- カタログファイルに相対パス／絶対パスを記載しないでください
- 複数のカタログファイルを記載する場合には、名称が重複しないように指定してください
- 複数のカタログファイルを記載した場合には、記載順に上からモジュール更新処理を実行します

3.1.6

上位互換維持のため、従来のスペック形式の読み込みも可能です。

以下の情報は、記載しても無視します。

< BackUpDataPath > : 端末のバックアップデータを保存するサーバフルパス

3.2

(* .xml)

カタログファイルとは、更新対象モジュールの名称／バージョン／更新比較条件／更新時動作を格納する XML ファイルです。

エンコードは ShiftJIS を基本とするが、XML ヘッダ情報に適切に記載することで、以下のエンコードも読み込み可能です。

```
ShiftJIS    <?xml version="1.0" encoding="shift_Jis" standalone="yes" ?>
UTF-8       <?xml version="1.0" encoding="utf-8" standalone="yes" ?>
UTF-16      <?xml version="1.0" encoding="utf-16" standalone="yes" ?>
```

カタログファイルは、以下の 2 ブロックから構成されています。

```
識別情報ブロック    "identities"
モジュール情報ブロック "release"
```

```
<?xml version="1.0" encoding="shift_Jis" standalone="yes" ?>
<ModuleIdentities>
  <identities>
    識別情報ブロック
  </identities>
  <release>
    モジュール情報列挙ブロック
  </release>
</ModuleIdentities>
```

3.2.1

識別情報ブロックとは、カタログファイルを識別する情報を格納するブロックです。

識別情報ブロックの書式を以下に示します。

```
<identities>
  <Title>表示名</Title>
  <Version>バージョン</Version>
  <Date>最終更新日付</Date>
  <SavePath>ダウンロードフォルダ相対パス</SavePath>
</identities>
```

カタログファイルの表示名を記載してください(必須)。

画面に表示可能な最大文字数は半角 24 文字(全角 13 文字)です。

本ツールでは、この情報を更新処理実行時の更新状況表示に使用します。

カタログファイルのバージョンを"99.9999.99"の形式で記載してください(省略可)。

本ツールでは、この情報を使用しません。

カタログファイルの最終更新日付を"YYYYMMDD"の形式で記載してください(省略可)。

本ツールでは、この情報を使用しません。

対象モジュールのダウンロード先を、ダウンロードフォルダからの相対パスで記載してください(必須)。

3.2.2

モジュール情報列挙ブロックとは、更新対象モジュールの情報を列挙、格納するブロックです。

モジュール情報列挙ブロックの書式を以下に示します。

```
<release>
  <list>
    モジュール情報ブロック
  </list>
  <list>
    モジュール情報ブロック
  </list>
  :
  :
</release>
```

更新対象モジュールの情報を記載してください(必須)。
複数の更新対象モジュール情報を列挙することが可能です。

- 複数の更新対象モジュールを記載する場合には、モジュール名が重複しないように指定してください
- 複数の更新対象モジュールを記載した場合には、記載順に上からモジュール更新処理を実行します

3.2.3

モジュール情報ブロックとは、更新対象モジュールの名称/バージョン/更新比較条件/更新時動作の情報を格納するブロックです。

モジュール情報ブロックの書式を以下に示します。

```
<list>
  <Title>表示名</Title>
  <Module>モジュール名</Module>
  <Date>最終更新日付</Date>
  <Version>バージョン</Version>
  <Comparison>更新比較方法</Comparison>
  <Type>モジュール種別</Type>
  <Destination>配置フォルダフルパス</Destination>
  <Copytowork>動作中モジュール更新フラグ</Copytowork>
  <Execution>モジュール実行フラグ</Execution>
  <Parameter>モジュール実行パラメータ</Parameter>
  <Deleted>モジュール削除フラグ</Deleted>
  <Reset>リセット実行フラグ</Reset>
  <Checksum>MD5 チェックサム</Checksum>
</list>
```

更新対象モジュールの表示名を記載してください(必須)。

表示名の画面に表示可能な最大文字数は半角 21 文字(全角 12 文字)です。

表示名の表示/非表示を以下のパラメータで指定してください。

“yes” :表示名を画面に表示

“no” :表示名を画面に非表示

本指定を省略した場合は、“yes”を指定したものと扱います。

本ツールでは、この情報を更新処理実行時の更新状況表示に使用します。

更新対象モジュールのモジュール名※を記載してください(必須)。

※ 拡張子も含めたモジュール正式名称を記載してください。

※ 相対パスや絶対パスを記載しないでください。

モジュールの属性を以下のパラメータで指定し、指定した属性を追加します。

“r” :読み取り専用

本指定を省略した場合は、OS の標準状態(ファイル新規作成時属性)となります。

更新対象モジュールの最終更新日付を“YYYYMMDD”の形式で記載します(省略可)。
本ツールでは、この情報を使用しません。

更新対象モジュールのバージョンを“99.9999.99”の形式で記載してください(省略可)。
本ツールでは、この情報を更新要/不要の判断基準として使用します。
“00.0000.01”以上を指定してください。

更新対象モジュールの更新要/不要判定方法を以下のパラメータの中から記載してください(省略可)。
本指定を省略した場合は、“versionup”を指定したもとして扱います。

“versionup” カタログファイルに記載のモジュールバージョンが、端末のモジュールバージョンを上回った場合に更新処理実行
“versiondown” カタログファイルに記載のモジュールバージョンが、端末のモジュールバージョンを下回った場合に更新処理実行

更新対象ファイルの拡張子を記述してください(省略可)。
本ツールでは、この情報をモジュール更新後の実行処理の判別にのみ使用します。

“cab” 実行モジュールを“winceload.exe”とし、更新対象モジュールを引数として実行
“cab”以外 更新対象モジュールを、そのまま実行

HT

更新対象ファイルの配置先フォルダのフルパスを記載してください(必須)。
ダウンロードフォルダ+ダウンロードフォルダ相対パスにダウンロードした対象モジュールを、CopyFile() API を用いて配置フォルダに配置します。

- PC
フルパスを記載してください。
環境変数を使用する場合は「%変数名%」で記載してください。(例 %TEMP%)
環境変数は ExpandEnvironmentStrings() で展開します。
- HT
フルパスを記載してください。

動作中モジュール更新は、本ツール起動中に動作中のモジュールの更新を意味します。(省略可)
モジュール更新するかどうかを以下のパラメータで指定してください。

“yes” :他のモジュール更新処理の完了後にソフトリセットを行い、再起動後に配置/実行/削除の更新処理を継続
“no” :以後のモジュール更新処理をそのまま実行
本指定を省略した場合は、“no”を指定したもとして扱います。

更新対象モジュールを配置フォルダに配置した後に実行するかどうか、以下のパラメータで指定してください。(省略可)

“yes” : 配置後に ShellExecuteEx() API を用いてモジュールを実行し、完了を待機

“no” : 何もしません

本指定を省略した場合は、“no”を指定したものとして扱います。

モジュール実行フラグに“yes”を指定した場合に、モジュール実行の引数を記載してください。

本指定を省略した場合は、引数なしでモジュールを実行します。

モジュール実行フラグに“No”を指定した場合、あるいは、モジュール実行フラグを省略した場合には、本指定は無視します。

更新対象モジュールを配置フォルダに配置した後に削除するかどうか、以下のパラメータで指定してください。(省略可)

“yes” : 配置後に DeleteFile() API を用いてモジュールを削除

“no” : 何もしません

本指定を省略した場合は、“no”を指定したものとして扱います。

MD5

更新対象モジュールの MD5 チェックサム文字列を記載してください(省略可)。

本ツールでは、記載の MD5 チェックサムをモジュールダウンロード時、およびモジュール配置時のファイル整合性確認に使用します。

本指定を省略した場合は、何もしません。

更新対象モジュールを更新後にリセットするかどうか、以下のパラメータで指定してください。(省略可)

“yes” : 更新後にリセット

“no” : 何もしません

本指定を省略した場合は、“yes”を指定したものとして扱います。

3.2.4

以下の情報を記載しても無視します。

< Size > : 端末のバックアップデータを保存するサーバフルパス

以下の情報を記載した場合に従来と動作が異なります。

< Comparison > : “DateUp”/“DateDown”を指定した場合、“Versionup”を指定したものとみなします

3.3

(MbConfiglog)

更新済みモジュール情報格納ファイルとは、更新済みモジュールの名称／バージョン／最終更新日付を格納する XML ファイルです。

本ファイルは、端末 1 台につき 1 ファイルのみ存在し、複数のカタログファイルによる更新処理が実行されたとしても、すべての情報をマージして格納します。

記載内容は、「3.2カタログファイル(*.xml)」と同一で、以下の情報フィールドのみ使用します。

<Release>	—	<List>	<Title>	:各カタログファイルから転記
			<Module>	:各カタログファイルから転記
			<Date>	:更新に成功した日時
			<Version>	:各カタログファイルから転記

3.4

更新結果ログファイルとは、更新済みモジュールの名称/バージョン/最終更新日付を格納する CSV ファイルです。

3.4.1

更新結果ログファイルの名称を以下に示します。

“店舗コード”-“端末番号”MoConfig.log

更新設定情報ファイル(MoConfig.xml)の識別情報ブロックに記載の「店舗コード」、「端末番号」をプレフィックスとして使用します。

例)

店舗コード="1"、端末番号="2"の場合の更新結果ログファイル名称 → "1-2MoConfig.log"

更新結果ログファイルの書式を以下に示します。

店舗コード, 端末番号, 更新日付, <未使用>, モジュール表示名, モジュール名, バージョン,
1 (固定)

モジュール更新中に失敗した場合は、作業フォルダにあるログファイルのバージョン部分に以下を記載します。

```
<version>error version</version>
```

4.

4.1

モジュール更新ツールの起動引数を以下に示します。

Mouupdate.exe [/A | /B | /S]

引数	動作
なし	起動画面を表示し、モジュール更新の指示待機を行います 「4.3更新設定同期」「4.4カタログファイル更新」「4.5モジュール更新」「4.6動作中モジュール更新」「4.7更新完了処理」処理を行います
/A	判定済みのモジュール更新対象情報にもとづき、「4.5モジュール更新」「4.6動作中モジュール更新」「4.7更新完了処理」処理を行います
/B	「4.3更新設定同期」「4.4カタログファイル更新」「4.5モジュール更新」「4.6動作中モジュール更新」「4.7更新完了処理」処理を行います
/S	「4.6動作中モジュール更新」「4.7更新完了処理」処理を行います


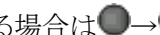

4.2

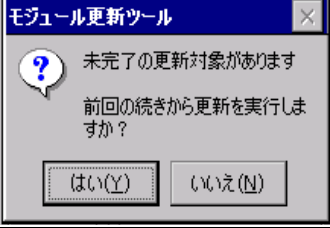
本ツールの画面構成を以下に示します。

4.2.1

実行画面とは、本ツール実行中に常に表示し続ける画面です。
HT で実行する場合には、最大化状態で表示することで、オペレータの誤操作を抑制します。



① 名称表示領域	本ツールの名称とバージョンを表示します
② 端末アイコン表示領域	端末のアイコンを表示します HT は上記アイコンを表示します PC は以下のアイコンを表示します 
③ カタログ情報表示領域	現在更新中のカタログファイルと、処理カタログファイル数/カタログファイル総数を表示します カタログファイルの解析が完了している場合は、識別情報ブロックの<表示名>を、未解析の場合はファイル名を表示します
④ 動作表示領域	本ツールの現在の動作を表示します ダウン/アップロードを実行している場合は  アイコンを、端末内での処理(配置/実行/削除)を実行している場合は  アイコンを表示します
⑤ モジュール情報表示領域	現在処理中のモジュールと、処理モジュール数/モジュール総数を表示します モジュールの名称は、モジュール情報ブロックの<表示名>を表示します

⑥ 更新状況表示領域	モジュールの更新に要求される処理の一覧と、その実行状況を表示します 完了した処理には、各処理の先頭に✔アイコンを表示します 更新に不要な処理はグレーアウトします		
更新開始	更新設定同期処理を開始します ただし、前回の処理が無線強度不足等で中止していた場合には、以下のダイアログを表示して、その時点のカタログファイルに対する処理を再開することが可能です		
		はい(Y)	前回中断したカタログファイルに対する更新から再開します
		いいえ(N)	更新設定情報同期から処理をやり直します
閉じる	モジュール更新処理を行わずに、本画面を閉じます		

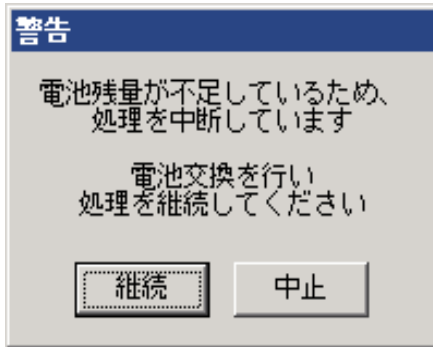
“ ”ボタン、および“ ”ボタンは、“[/A | /B]” 起動引数を付加して起動した場合には、表示しません。

また、更新設定同期処理を開始した以降は操作不能(disable 状態)になります。

4.2.2

電池残量確認ダイアログとは、モジュール更新実行時の電池残量を確認し、

- 充電中でない(AC 接続中でない)
 - 指定した電池残量のレベルを下回っている
- の条件が成立した場合に表示する警告ダイアログです。



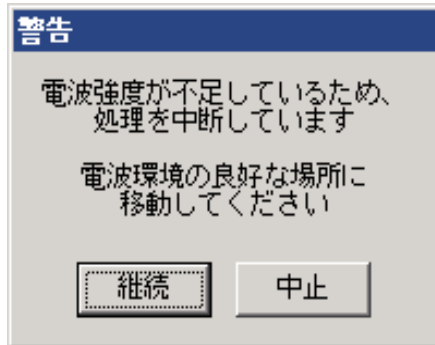
- 電池残量が上記条件に合致しない場合には、自動的にクローズしてその後の処理を継続します
- “ 継続 ” ボタンを押下した場合には、モジュール更新処理を継続します
- “ 中止 ” ボタンを押下した場合には、警告ダイアログを表示した後にモジュール更新処理を中止します

4.2.3

無線強度確認ダイアログとは、ダウンロード/アップロード伝送経路が

- HTTP
- FTP
- フォルダ共有
- LMWIN(LAN)

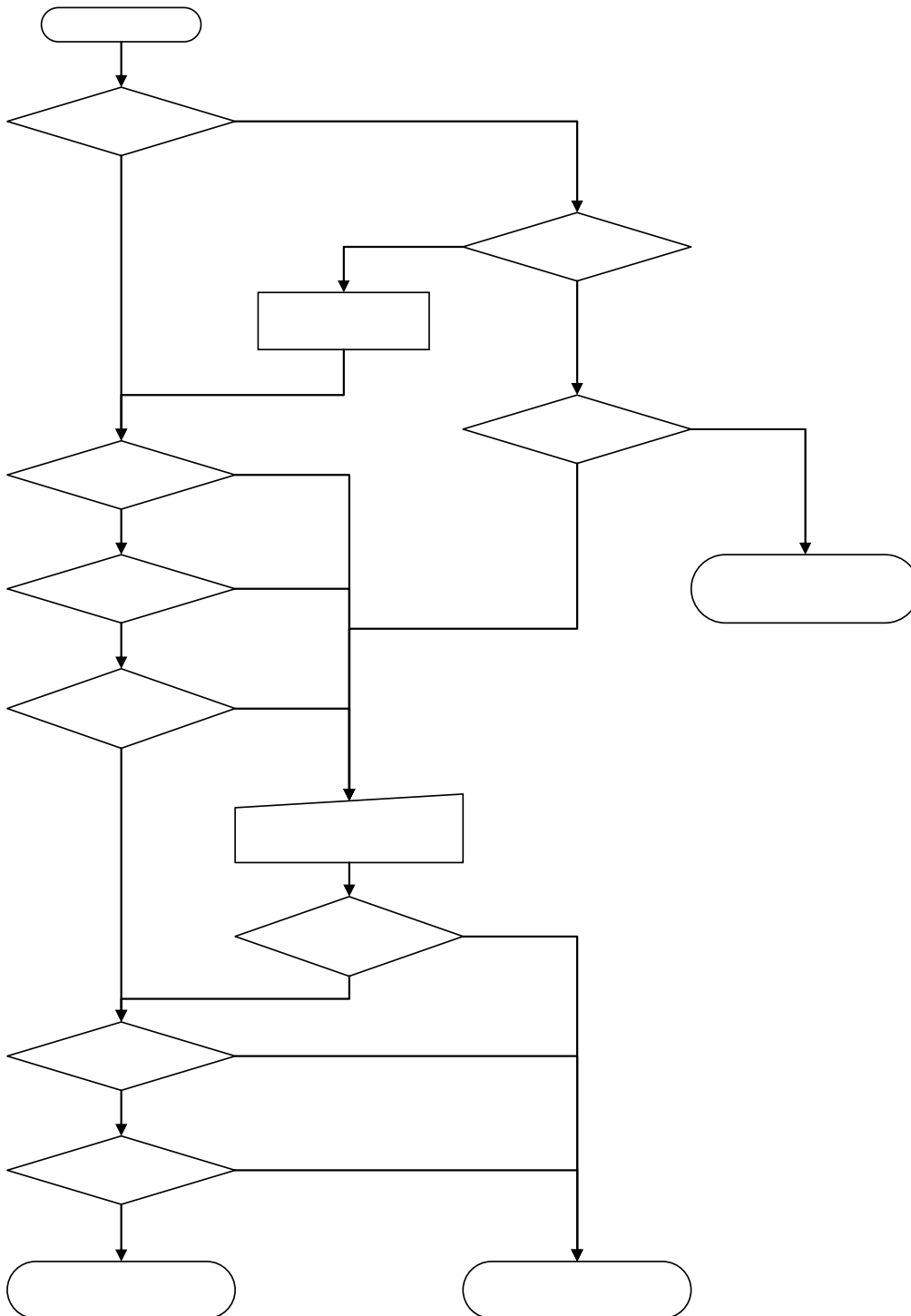
の場合で、かつダウン/アップロード開始時に無線 LAN 電波強度が指定したレベルを下回っている場合に表示する警告ダイアログです。



- 無線 LAN 電波強度が 40%以上に回復した場合には、自動的にクローズしてその後の処理を継続します
- “ ”ボタンを押下した場合には、モジュール更新処理を継続します
- “ ”ボタンを押下した場合には、警告ダイアログを表示した後にモジュール更新処理を中止します

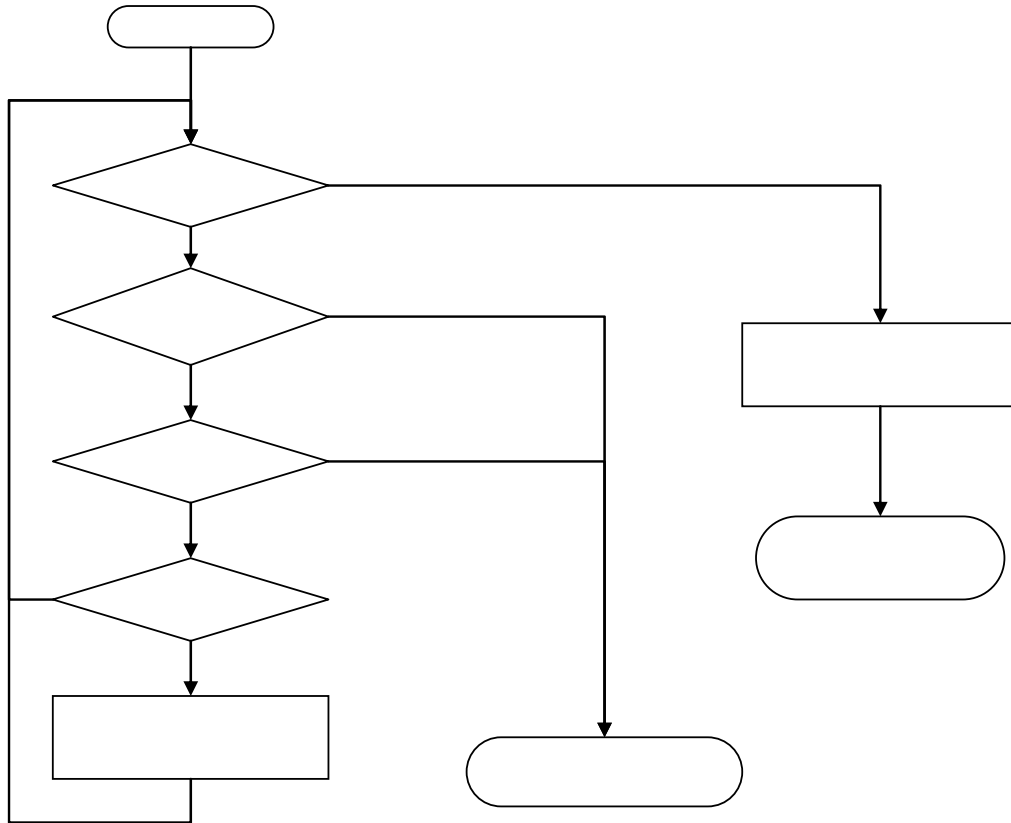
4.3

更新対象カタログファイルの増減にリアルタイムに追従するため、端末／サーバのそれぞれで保持する更新設定ファイル(MoConfig.xml)を比較し、端末／サーバの更新設定ファイルのカタログ情報ブロック内容を同期します。



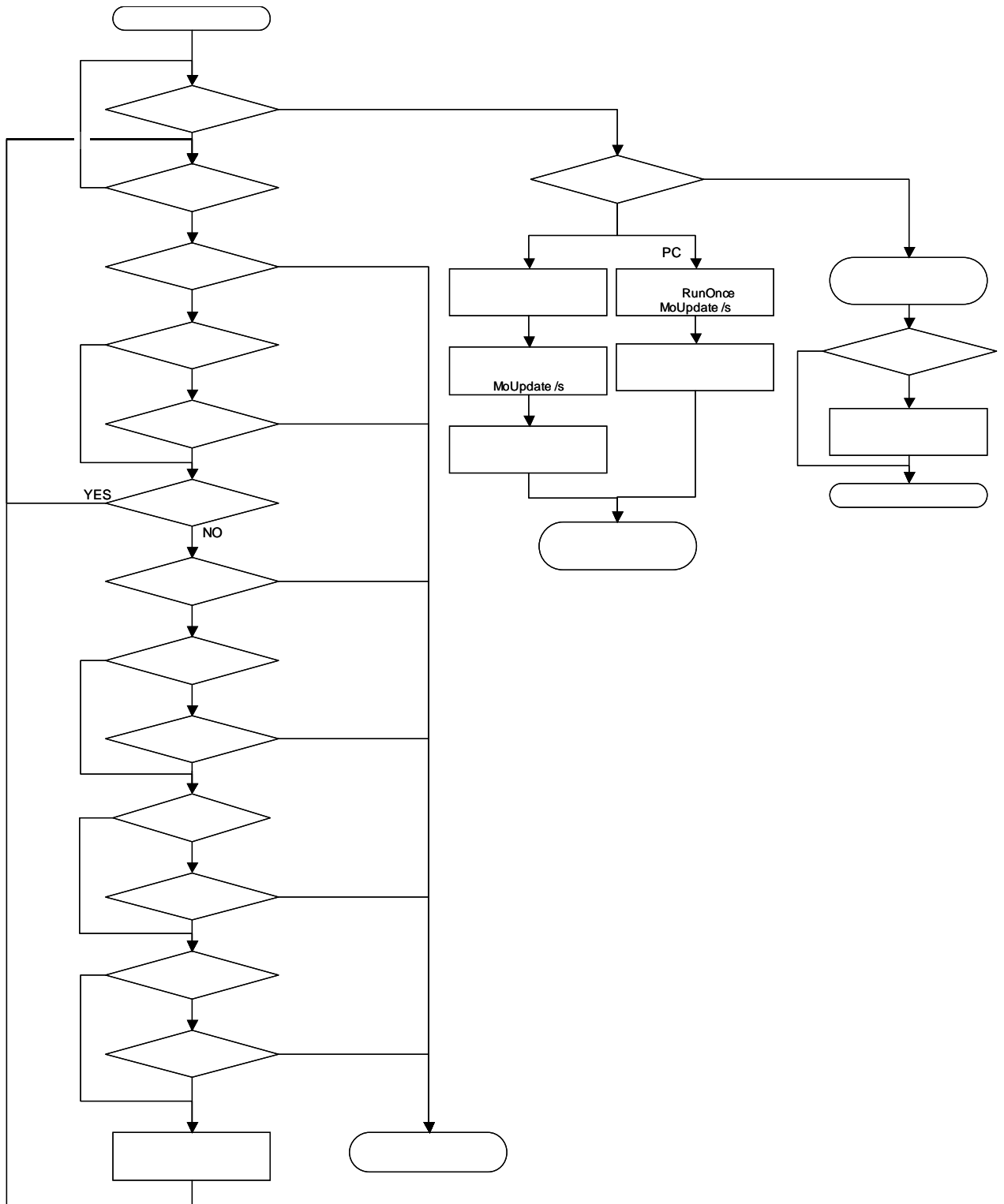
4.4

更新設定情報のカタログブロックに記載のすべてのカタログファイルに対し、サーバ／端末間の差異を抽出し、更新対象モジュールの有無を判定します。



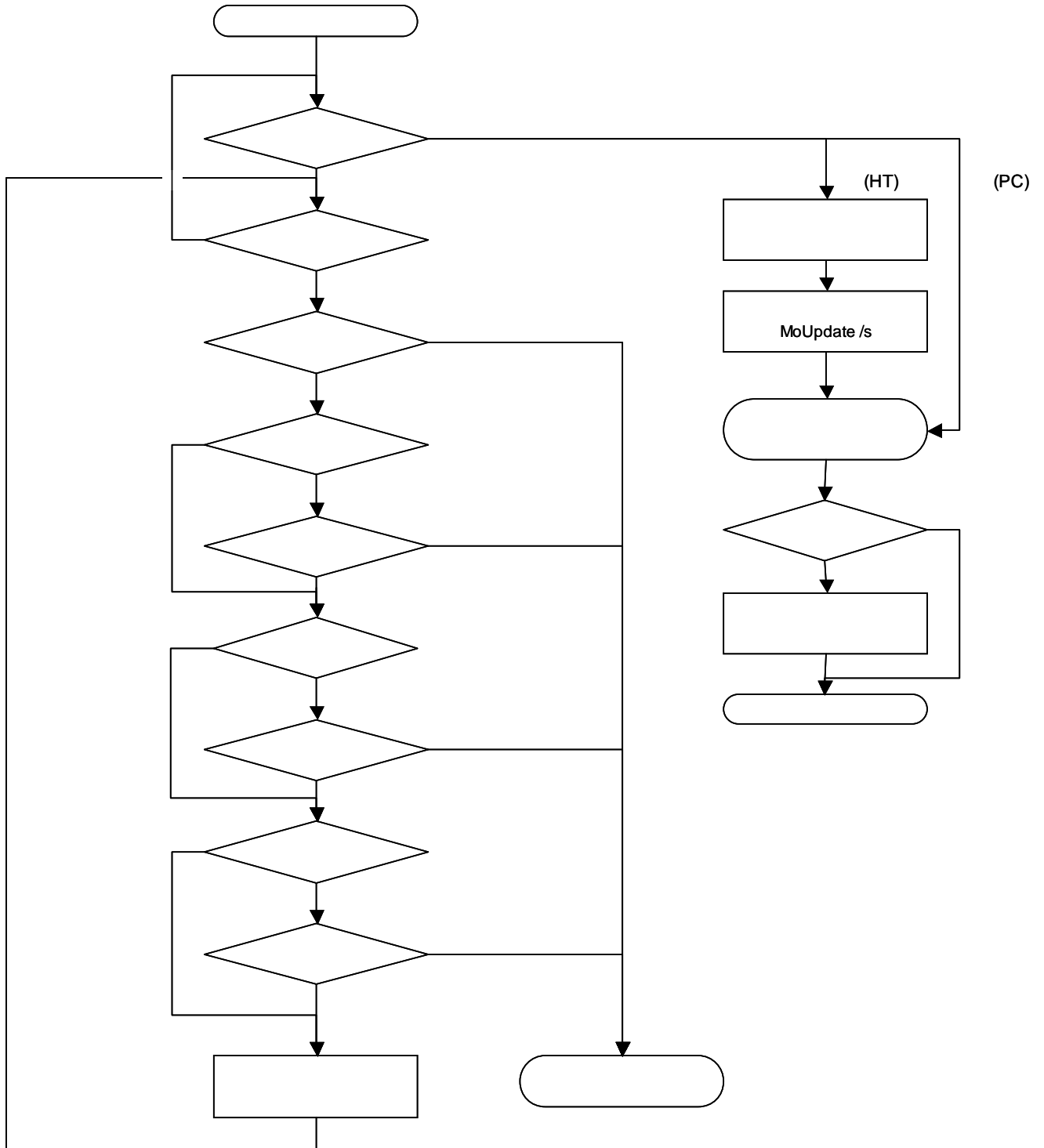
4.5

カタログ更新処理で検出した更新対象モジュールに対し、ダウンロード／配置／実行等の更新処理を行います。



4.6

更新対象モジュールに動作中モジュール更新処理の指定(<COPYTOWORK>="Yes")がある場合、一旦ソフトリセットを行った後に、モジュール更新処理を行います。



4.7

すべてのモジュール更新が完了したことを、更新結果ログファイルに記載します。
更新設定情報ファイルのアップロード伝送ブロック情報に従い、更新結果ログファイルをサーバにアップロードします。

- 更新結果ログファイルのアップロードに HTTP を使用することはできません
- 更新設定情報ファイルのアップロード伝送情報ブロックに HTTP を指定した場合、何もしません

4.8

モジュール更新中に発生するエラーを以下に示します。

- 更新を行うための各種スペックファイルがない
- 各種スペックファイルのフォーマットに異常がある
- 各種スペックファイルの記載内容に論理異常がある

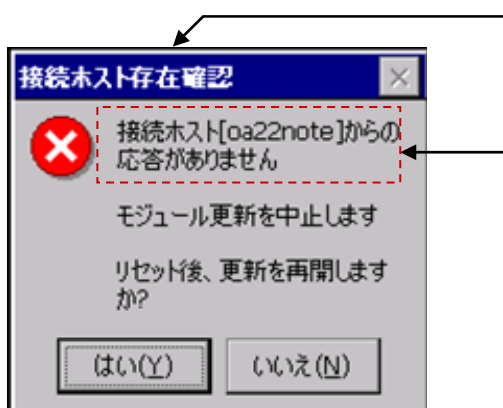
- 更新サーバがネットワーク上に見つからない
- 更新サーバが応答しない
- スペックファイル/更新対象モジュールのダウンロードに失敗した
- 更新モジュールの MD5 チェックサムが異なる

- 更新モジュールの配置に必要な空き容量がない
- 配置後の更新モジュールの MD5 チェックサムが異なる

- 配置後の更新モジュールが実行できない
- 配置後の更新モジュールの実行結果(終了コード)が0でない

- 既存スタートアップの退避に失敗した
- 更新モジュールのスタートアップ登録に失敗した

モジュール更新中にエラーが発生した場合、以下の「エラー警告ダイアログ」を表示します。



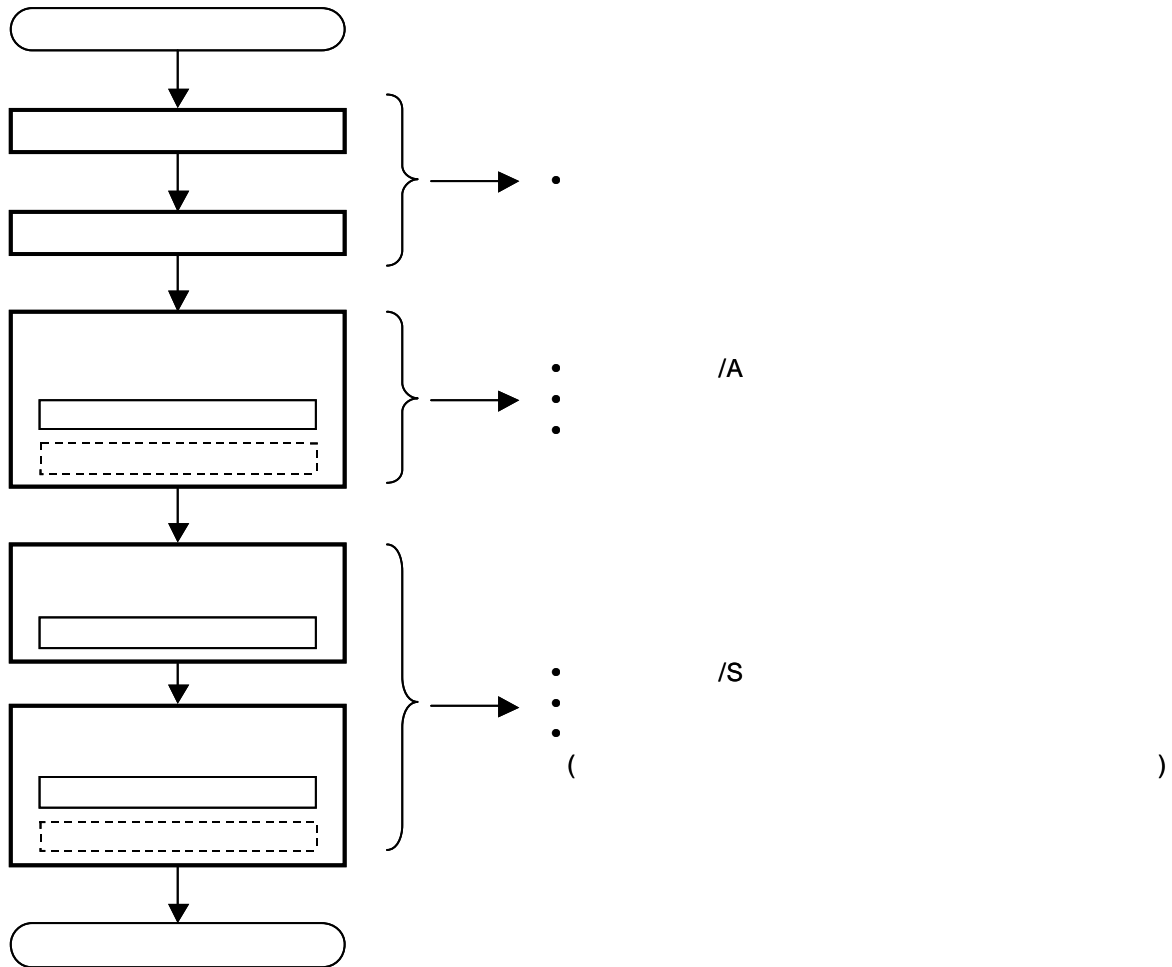
エラーの発生した工程を警告ダイアログのタイトルとして表示します。

エラーの内容を警告ダイアログのメッセージとして表示します。

- “ **(Y)**” ボタンを押下した場合、後述するエラーリトライ処理を実行します
- “ **(N)**” ボタンを押下した場合、モジュール更新処理を中止します(ソフトリセットは行いません)

4.8.1

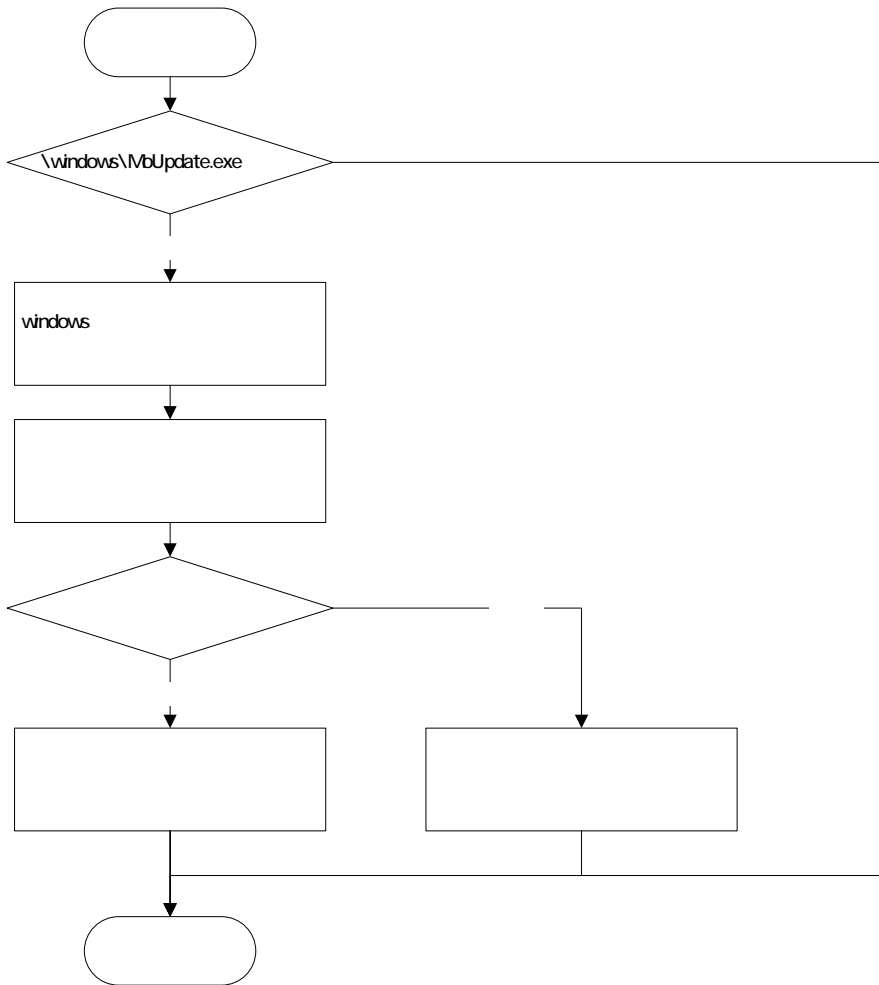
モジュール更新中にエラーが発生した場合の、エラーリトライ処理を以下に示します。



「モジュール更新処理」以降、エラーが発生した場合には、オペレータが「エラー警告ダイアログ」にて更新処理の中止(“(N)”ボタンの押下)を行わない限り、リトライを繰り返します。

4.8.2

モジュール更新ツールをインストール時のインストール判断処理を以下に示す。



4.9

CAB/Setup.exe

モジュール更新中は以下の処理を抑止する。更新開始時に抑止し、更新処理完了後に抑止を解除します。

本機能は HT のみです。

- OS パッチ CAB ファイルの自動リセット

本ツールで OS パッチ CAB ファイルを更新し、実行後の自動リセットを抑止します。

実行後のリセットは本ツールで一括して行います。

実行後にリセットする場合は、「カタログファイル」-「モジュール情報ブロック」-「リセット実行フラグ」を設定します。

- リセット時の Setup.exe/Restore.exe 実行

モジュール更新中のリセット時に Setup.exe/Restore.exe の実行を抑止します。

更新終了後のリセットで Setup.exe/Restore.exe 実行します。

4.10

初回のモジュール更新時や、更新設定ファイルの解析異常時など、端末の更新設定情報が取得できない場合には、「設定ファイルのダウンロード」指示画面を表示して、その場で更新設定情報ファイルをダウンロードすることが可能です。

4.10.1

ダウンロード元接続方法は以下の7通りのうち、いずれか1つを選択する。選択した接続方法に対し通信設定を行うことでダウンロード元から情報を取得する。

接続方法	内容
HTTP	サーバで公開した HTTP フォルダから目的のファイルの取得
FTP	サーバで公開した FTP フォルダから目的のファイルの取得
ファイル共有	共用ネットワーク上に公開したフォルダから目的のファイルの取得
FLINK(COM1)	COM1 に接続したデバイスから目的のファイルの取得
FLINK(IrDA)	IrDA に接続したデバイスから目的のファイルの取得
FLINK(LAN)	LAN に接続したデバイスから目的のファイルの取得
FLINK(USB)	USB に接続したデバイスから目的のファイルの取得



4.10.2 HTTP



「3.1.3 ダウンロード伝送情報ブロック」<HTTP経路詳細情報>に相当する情報を入力し、“ ”ボタン押下で、更新設定情報ファイルをダウンロードします。

4.10.3 FTP



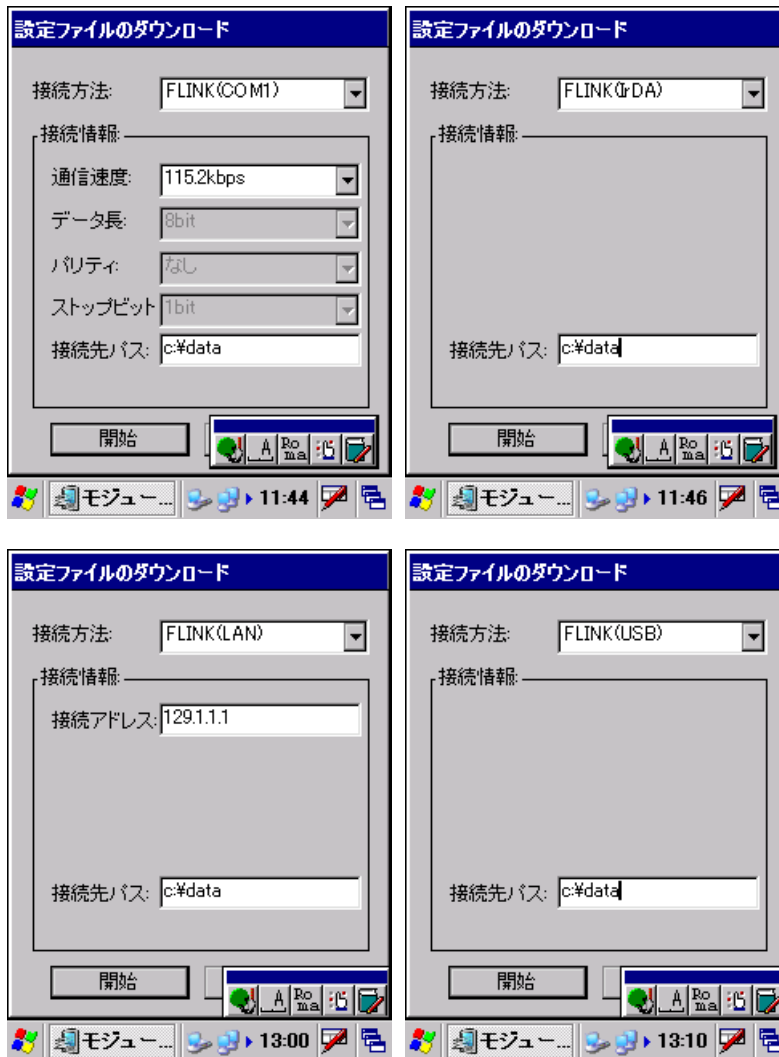
「3.1.3 ダウンロード伝送情報ブロック」<FTP経路詳細情報>に相当する情報を入力し、“ ”ボタン押下で、更新設定情報ファイルをダウンロードします。

4.10.4



「3.1.3 ダウンロード伝送情報ブロック」 <フォルダ共有経路詳細情報>に相当する情報を入力し、“”ボタン押下で、更新設定情報ファイルをダウンロードします。

4.10.5 LMWIN



「3.1.3 ダウンロード伝送情報ブロック」 <LMWIN共有経路詳細情報>に相当する情報を入力し、“ ”ボタン押下で、更新設定情報ファイルをダウンロードします。

5. API

他のアプリケーションからモジュール更新ツールを制御する関数を提供します。

ヘッダ : MoUpdateLib.h
ライブラリ : MoUpCommon.lib / MoUpCommon.dll

5.1

本 API が提供する関数の一覧を以下に示します。

関数名	機能
MoUpGetNeedUpdate	モジュール更新処理要/不要の判定
MoUpGetCommunicationRoute	ダウンロード伝送経路情報の取得
MoUpSetCommunicationRoute	ダウンロード伝送経路情報の設定
MoUpGetFtpServerName	ダウンロード FTP サーバー名の取得
MoUpSetFtpServerName	ダウンロード FTP サーバー名の設定
MoUpGetFtpServerAddress	ダウンロード FTP URL の取得
MoUpSetFtpServerAddress	ダウンロード FTP URL の設定
MoUpGetFtpLoginUser	ダウンロード FTP ユーザアカウントの取得
MoUpSetFtpLoginUser	ダウンロード FTP ユーザアカウントの設定
MoUpGetFtpLoginPassword	ダウンロード FTP パスワードの取得
MoUpSetFtpLoginPassword	ダウンロード FTP パスワードの設定
MoUpGetHTTPServerURL	ダウンロード HTTP URL の取得
MoUpSetHTTPServerURL	ダウンロード HTTP URL の設定
MoUpGetLMWinDevice	ダウンロード LMWIN デバイスの取得
MoUpSetLMWinDevice	ダウンロード LMWIN デバイスの設定
MoUpGetLMWinServerAddress	ダウンロード LMWIN サーバアドレスの取得
MoUpSetLMWinServerAddress	ダウンロード LMWIN サーバアドレスの設定
MoUpGetLMWinComSetting	ダウンロード LMWIN COM 通信速度の取得
MoUpSetLMWinComSetting	ダウンロード LMWIN COM 通信速度の設定
MoUpGetSaveBackupDataPath	バックアップデータ保存パスの取得
MoUpSetSaveBackupDataPath	バックアップデータ保存パスの取得
MoUpGetInstallFileInformation	更新対象ファイル情報の取得
MoUpReadConfig	更新設定情報ファイルの読み込み
MoUpReadLocalConfig	更新設定情報ファイルの読み込み
MoUpWriteConfig	更新設定情報ファイルの書き込み
MoUpGetErrorMessage	エラーメッセージの取得
MoUpSetStoreCode	店舗コードの設定
MoUpSetHTCode	端末番号の設定
MoUpGetNeedUpdateEx	モジュール更新処理要/不要の判定
MoUpGetCommunicationRouteEx	伝送経路情報の取得
MoUpSetCommunicationRouteEx	伝送経路情報の設定
MoUpGetFtpServerAddressEx	FTP URL の取得
MoUpSetFtpServerAddressEx	FTP URL の設定
MoUpGetFtpLoginUserEx	FTP ユーザアカウントの設定
MoUpSetFtpLoginUserEx	FTP ユーザアカウントの取得

関数名	機能
MoUpGetFtpLoginPasswordEx	FTP パスワードの取得
MoUpSetFtpLoginPasswordEx	FTP パスワードの設定
MoUpGetHTTPServerURLEx	HTTP URL の取得
MoUpSetHTTPServerURLEx	HTTP URL の設定
MoUpGetSharedServerAddressEx	フォルダ共有 UNC の取得
MoUpSetSharedServerAddressEx	フォルダ共有 UNC の設定
MoUpGetSharedLoginUserEx	フォルダ共有 ユーザアカウントの取得
MoUpSetSharedLoginUserEx	フォルダ共有ユーザアカウントの設定
MoUpGetSharedLoginPasswordEx	フォルダ共有パスワードの取得
MoUpSetSharedLoginPasswordEx	フォルダ共有パスワードの設定
MoUpGetLMWinDeviceEx	LMWIN デバイスの取得
MoUpSetLMWinDeviceEx	LMWIN デバイスの設定
MoUpGetLMWinServerAddressEx	LMWIN サーバアドレスの取得
MoUpSetLMWinServerAddressEx	LMWIN サーバアドレスの設定
MoUpGetLMWinComSettingEx	LMWIN COM 通信速度の取得
MoUpSetLMWinComSettingEx	LMWIN COM 通信速度の設定
MoUpGetLMWinRoutePathEx	LMWIN ルートパスの取得
MoUpSetLMWinRoutePathEx	LMWIN ルートパスの設定

また、各関数と対応する更新設定ファイルのタグを以下に示します。

関数名	ブロック	設定／取得内容
MoUpGetCommunicationRoute	ダウンロード伝送情報	<type>の取得
MoUpSetCommunicationRoute	↑	<type>の設定
MoUpGetFtpServerAddress	↑	FTP 経路詳細情報の<service>の取得
MoUpSetFtpServerAddress	↑	FTP 経路詳細情報の<service>の設定
MoUpGetFtpLoginUser	↑	FTP 経路詳細情報の<user>の取得
MoUpSetFtpLoginUser	↑	FTP 経路詳細情報の<user>の設定
MoUpGetFtpLoginPassword	↑	FTP 経路詳細情報の<passwd>の取得
MoUpSetFtpLoginPassword	↑	FTP 経路詳細情報の<passwd>の設定
MoUpGetHTTPServerURL	↑	HTTP 経路詳細情報の<service>の取得
MoUpSetHTTPServerURL	↑	HTTP 経路詳細情報の<service>の設定
MoUpGetLMWinDevice	↑	LMWIN 経路詳細情報の<FLType>の取得
MoUpSetLMWinDevice	↑	LMWIN 経路詳細情報の<FLType>の設定
MoUpGetLMWinServerAddress	↑	LMWIN 経路詳細情報の<service>の取得
MoUpSetLMWinServerAddress	↑	LMWIN 経路詳細情報の<service>の設定
MoUpGetLMWinComSetting	↑	LMWIN 経路詳細情報の<FLCom>の取得
MoUpSetLMWinComSetting	↑	LMWIN 経路詳細情報の<FLCom>の設定
MoUpSetStoreCode	識別情報	<StoreCode>の設定
MoUpSetHTCode	↑	<HtNo>の設定

MoUpGetCommunicationRouteEx	ダウンロード伝送情報 アップロード伝送情報	<type>の取得
MoUpSetCommunicationRouteEx	↑	<type>の設定
MoUpGetFtpServerAddressEx	↑	FTP 経路詳細情報の<service>のサーバ名取得
MoUpSetFtpServerAddressEx	↑	FTP 経路詳細情報の<service>のサーバ名設定
MoUpGetFtpLoginUserEx	↑	FTP 経路詳細情報の<user>のサーバ名取得
MoUpSetFtpLoginUserEx	↑	FTP 経路詳細情報の<user>のサーバ名設定
MoUpGetFtpLoginPasswordEx	↑	FTP 経路詳細情報の<passwd>の取得
MoUpSetFtpLoginPasswordEx	↑	FTP 経路詳細情報の<passwd>の設定
MoUpGetHTTPServerURLEx	↑	HTTP 経路詳細情報の<service>の取得
MoUpSetHTTPServerURLEx	↑	HTTP 経路詳細情報の<service>の設定
MoUpGetSharedServerAddressEx	↑	フォルダ共有経路詳細情報の<service>の取得
MoUpSetSharedServerAddressEx	↑	フォルダ共有経路詳細情報の<service>の設定
MoUpGetSharedLoginUserEx	↑	フォルダ共有経路詳細情報の<user>の取得
MoUpSetSharedLoginUserEx	↑	フォルダ共有経路詳細情報の<user>の設定
MoUpGetSharedLoginPasswordEx	↑	フォルダ共有経路詳細情報の<passwd>の取得
MoUpSetSharedLoginPasswordEx	↑	フォルダ共有経路詳細情報の<passwd>の設定
MoUpGetLMWinDeviceEx	↑	LMWIN 経路詳細情報の<FLType>の取得
MoUpSetLMWinDeviceEx	↑	LMWIN 経路詳細情報の<FLType>の設定
MoUpGetLMWinServerAddressEx	↑	LMWIN 経路詳細情報の<service>の取得
MoUpSetLMWinServerAddressEx	↑	LMWIN 経路詳細情報の<service>の設定
MoUpGetLMWinComSettingEx	↑	LMWIN 経路詳細情報の<FLCom>の取得
MoUpSetLMWinComSettingEx	↑	LMWIN 経路詳細情報の<FLCom>の設定
MoUpGetLMWinRoutePathEx	↑	LMWIN 経路詳細情報の<FLRoot>の取得
MoUpSetLMWinRoutePathEx	↑	LMWIN 経路詳細情報の<FLRoot>の設定

5.1.1 MbUpGetNeedUpdate

モジュール更新処理要／不要の判定を行います。

```
BOOL MbUpGetNeedUpdate(  
    BOOL*   lpNeedUpdate  
)
```

lpNeedUpdate

更新が必要かどうかの判定値を格納するアドレスを指定します。

TRUE :更新必要

FALSE :更新不要

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はモジュール更新処理要／不要の判定を行います。

5.1.2 MbUpGetCommunicationRoute

ダウンロード伝送経路情報を取得します。

```
BOOL MbUpGetCommunicationRoute(  
LPTSTR IpRoute  
)
```

IpRoute

伝送経路をあらわす文字列を格納するアドレスを指定します。

"FTP" :FTPを使用
"HTTP" :HTTPを使用
"LMWin" :LMWINを使用
"SHARE" :フォルダ共有を使用

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード伝送経路情報を取得します。

5.1.3 MbUpSetCommunicationRoute

ダウンロード伝送経路情報を設定します。

```
BOOL MbUpSetCommunicationRoute(  
    LPTSTR IpRoute  
)
```

IpRoute

伝送経路をあらわす文字列を格納しているアドレスを指定します。

"FTP" :FTP を使用
"HTTP" :HTTP を使用
"LMWin" :LMWIN を使用
"SHARE" :フォルダ共有を使用

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード伝送経路情報を設定します。

5.1.4 MbUpGetFtpServerName

ダウンロード FTP サーバ名を取得します。

```
BOOL MbUpGetFtpServerName(  
    LPTSTR IpFtpServerName  
)
```

IpFtpServerName

ダウンロード FTP サーバ名を格納するアドレス。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード FTP サーバ名を取得します。

本関数はソースコード互換維持のために残されています。
本関数の呼び出しを行った場合、常に異常終了します。

5.1.5 MbUpSetFtpServerName

ダウンロード FTP サーバ名を設定します。

```
BOOL MbUpSetFtpServerName(  
    LPTSTR IpFtpServerName  
)
```

IpFtpServerName

ダウンロード FTP サーバ名を格納しているアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード FTP サーバ名を設定します。

本関数はソースコード互換維持のために残されています。
本関数の呼び出しを行った場合、常にエラー終了します。

5.1.6 MbUpGetFtpServerAddress

ダウンロード FTP URL を取得します。

```
BOOL MbUpGetFtpServerAddress(  
    LPTSTR IpFtpServerAddress  
)
```

IpFtpServerAddress

ダウンロード FTP URL を格納するアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード FTP URL を取得します。

5.1.7 MbUpSetFtpServerAddress

ダウンロード FTP URL を設定します。

```
BOOL MbUpSetFtpServerAddress(  
    LPTSTR IpFtpServerAddress  
)
```

IpFtpServerAddress

ダウンロード FTP URL を格納しているアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード FTP URL を設定します。

5.1.8 MbUpGetFtpLoginUser

ダウンロード FTP ユーザアカウントを取得します。

```
BOOL MbUpGetFtpLoginUser (  
    LPTSTR IpFtpLoginUser  
)
```

IpFtpLoginUser

ダウンロード FTP ユーザアカウントを格納するアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード FTP ユーザアカウントを取得します。

5.1.9 MbUpSetFtpLoginUser

ダウンロード FTP ユーザアカウントを設定します。

```
BOOL MbUpSetFtpLoginUser (  
    LPTSTR IpFtpLoginUser  
)
```

IpFtpLoginUser

ダウンロード FTP ユーザアカウントを格納しているアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード FTP ユーザアカウントを設定します。

5.1.10 MbUpGetFtpLoginPassword

ダウンロード FTP パスワードを取得します。

```
BOOL MbUpGetFtpLoginPassword(  
    LPTSTR IpFtpLoginPassword  
)
```

IpFtpLoginPassword

ダウンロード FTP パスワードを格納するアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード FTP パスワードを取得します。

5.1.11 MbUpSetFtpLoginPassword

ダウンロード FTP パスワードを設定します。

```
BOOL MbUpSetFtpLoginPassword(  
    LPTSTR IpFtpLoginPassword  
)
```

IpFtpLoginPassword

ダウンロード FTP パスワードを格納しているアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード FTP パスワードを設定します。

5.1.12 MbUpGetHTTPServerURL

ダウンロード HTTP URL を取得します。

```
BOOL MbUpGetHTTPServerURL(  
LPTSTR IpHTTPServerURL  
)
```

IpHTTPServerURL

ダウンロード HTTP URL を格納するアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード HTTP URL を取得します。

5.1.13 MbUpSetHTTPServerURL

ダウンロード HTTP URL を設定します。

```
BOOL MbUpSetHTTPServerURL(  
    LPTSTR IpHTTPServerURL  
)
```

IpHTTPServerURL

ダウンロード HTTP URL を格納しているアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード HTTP URL を設定します。

5.1.14 MbUpGetLMWinDevice

ダウンロード LMWIN デバイスを取得します。

```
BOOL MbUpGetLMWinDevice(  
    LPTSTR lpLMWinDevice  
)
```

lpLMWinDevice

LMWIN デバイスをあらわす文字列を格納するアドレスを指定します。

"COM1" :シリアルを使用
"IRDA" :赤外線を使用
"LAN" :LAN(無線 LAN 含む)を使用
"USB" :USB を使用

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード LMWIN デバイスを取得します。

5.1.15 MoUpSetLMWinDevice

ダウンロード LMWIN デバイスを設定します。

```
BOOL MoUpSetLMWinDevice(  
    LPTSTR IpLMWinDevice  
)
```

IpLMWinDevice

LMWIN デバイスをあらわす文字列を格納しているアドレスを指定します。

"COM1" :シリアルを使用
"IRDA" :赤外線を使用
"LAN" :LAN(無線 LAN 含む)を使用
"USB" :USBを使用

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード LMWIN デバイスを設定します。

5.1.16 MbUpGetLMWinServerAddress

ダウンロード LMWIN サーバアドレスを取得します。

```
BOOL MbUpGetLMWinServerAddress (  
    LPTSTR IpLMWinServerAddress  
)
```

IpLMWinServerAddress

ダウンロード LMWIN サーバアドレスを格納するアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード LMWIN サーバアドレスを取得します。

5.1.17 MoUpSetLMWinServerAddress

ダウンロード LMWIN サーバアドレスを設定します。

```
BOOL MoUpSetLMWinServerAddress (  
    LPTSTR IpLMWinServerAddress  
)
```

IpLMWinServerAddress

ダウンロード LMWIN サーバアドレスを格納しているアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード LMWIN サーバアドレスを設定します。

5.1.18 MbUpGetLMWinComSetting

ダウンロード LMWIN COM 通信速度を取得します。

```
BOOL MbUpGetLMWinComSetting(  
    LPTSTR lpLMWinComSetting  
)
```

lpLMWinComSetting

ダウンロード LMWIN COM 通信速度を格納するアドレスを指定します。

"LMWin_B1200"	:1200BPS
"LMWin_B2400"	:2400BPS
"LMWin_B4800"	:4800BPS
"LMWin_B9600"	:9600BPS
"LMWin_B19K"	:19200BPS
"LMWin_B38K"	:38400BPS
"LMWin_B57K"	:57600BPS
"LMWin_B115K"	:115200BPS

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード LMWIN COM 通信速度を取得します。

5.1.19 MbUpSetLMWinComSetting

ダウンロード LMWIN COM 通信速度を設定します。

```
BOOL MbUpSetLMWinComSetting(  
    LPTSTR lpLMWinComSetting  
)
```

lpLMWinComSetting

ダウンロード LMWIN COM 通信速度を格納しているアドレスを指定します。

"LMWin_B1200"	:1200BPS
"LMWin_B2400"	:2400BPS
"LMWin_B4800"	:4800BPS
"LMWin_B9600"	:9600BPS
"LMWin_B19K"	:19200BPS
"LMWin_B38K"	:38400BPS
"LMWin_B57K"	:57600BPS
"LMWin_B115K"	:115200BPS

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はダウンロード LMWIN COM 通信速度を設定します。

5.1.20 MoUpGetSaveBackupDataPath

バックアップデータ保存パスを取得します。

```
BOOL MoUpGetSaveBackupDataPath(  
LPTSTR IpSaveBackupDataPath  
)
```

IpSaveBackupDataPath

バックアップデータ保存パスを格納するアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はバックアップデータ保存パスを取得します。

本関数は、ソースコード互換維持のために残されています。
本関数の呼び出しを行った場合、常に異常終了する。

5.1.21 MoUpSetSaveBackupDataPath

バックアップデータ保存パスを取得します。

```
BOOL MoUpSetSaveBackupDataPath(  
    LPTSTR IpSaveBackupDataPath  
)
```

IpSaveBackupDataPath

バックアップデータ保存パスを格納しているアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はバックアップデータ保存パスを取得します。

本関数は、ソースコード互換維持のために残されています。
本関数の呼び出しを行った場合、常に異常終了する。

5.1.22 MoUpGetInstallFileInformation

更新対象ファイル情報を取得します。

```
BOOL MoUpGetInstallFileInformation(  
    DWORD          mode,  
    MOUP_FINFO*   fInfo  
)
```

mode

取得モード指定を取得します。

MOUP_GET_FIRST : 最初の取得

MOUP_GET_NEXT : 次情報取得

fInfo

ファイル情報を格納する構造体アドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は更新対象ファイル情報を取得します。

本関数は、ソースコード互換維持のために残されています。

本関数の呼び出しを行った場合、常に異常終了する。

5.1.23 MbUpReadConfig

更新設定情報ファイルを読み込みます。

BOOL MbUpReadConfig()

なし

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は更新設定情報ファイルを読み込みます。

5.1.24 MbUpReadLocalConfig

更新設定情報ファイルを読み込みます。

BOOL MbUpReadConfig()

なし

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は、更新サーバから更新設定情報ファイルをダウンロードせずに、直接ローカルの更新設定情報ファイルを読み込みます。

5.1.25 MbUpWriteConfig

更新設定情報ファイルを書き込みます。

BOOL MbUpWriteConfig()

なし

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は更新設定情報ファイルを書き込みます。

5.1.26 MoUpGetErrorMessage

エラーメッセージを取得します。

```
int MoUpGetErrorMessage(  
    LPTSTR lpzErrorMessage,  
    int nSize  
)
```

lpzErrorMessage

エラーメッセージを格納するアドレスを指定します。

nSize

エラーメッセージ格納領域のサイズを指定します。

エラーメッセージ格納領域の必要サイズを返します。

本関数はエラーメッセージを取得します。

5.1.27 MbUpSetStoreCode

店舗コードを設定します。

```
BOOL MbUpSetStoreCode(  
    LPTSTR  lpzStoreCode  
)
```

lpzStoreCode

店舗コードを格納しているアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は店舗コードを設定します。

5.1.28 MbUpSetHTCode

端末番号を設定します。

```
BOOL MbUpSetHTCode(  
    LPTSTR lpzHTCode  
)
```

lpzHTCode

端末番号を格納しているアドレスを指定します。

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は端末番号を設定します。

5.1.29 MoUpGetNeedUpdateEx

モジュール更新処理要／不要を判定します。

```
BOOL MoUpGetNeedUpdateEx(  
LPBOOL lpNeedUpdate  
)
```

lpNeedUpdate

更新が必要かどうかの判定値を格納するアドレスを指定します。

TRUE :更新必要
FALSE :更新不要

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はモジュール更新処理要／不要を判定します。

5.1.30 MoUpGetCommunicationRouteEx

伝送経路情報を取得します。

```
BOOL MoUpGetCommunicationRouteEx(  
    LPTSTR IpRoute,  
    BOOL bDown  
)
```

IpRoute

伝送経路をあらわす文字列を格納するアドレスを指定します。

"FTP" :FTPを使用
"HTTP" :HTTPを使用
"LMWin" :LMWINを使用
"SHARE" :フォルダ共有を使用

bDown

TRUE :ダウンロード
FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は伝送経路情報を取得します。

5.1.31 MoUpSetCommunicationRouteEx

伝送経路情報を設定します。

```
BOOL MoUpSetCommunicationRouteEx(  
    LPTSTR IpRoute  
    BOOL bDown  
)
```

IpRoute

伝送経路をあらわす文字列を格納するアドレスを指定します。

"FTP" :FTP を使用
"HTTP" :HTTP を使用
"LMWin" :LMWIN を使用
"SHARE" :フォルダ共有を使用

bDown

TRUE :ダウンロード
FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は伝送経路情報を設定します。

5.1.32 MbUpGetFtpServerAddressEx

FTP URL を取得します。

```
BOOL MbUpGetFtpServerAddressEx(  
    LPTSTR IpFtpServerAddress,  
    BOOL bDown  
)
```

IpFtpServerAddress

FTP URL を格納するアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は FTP URL を取得します。

5.1.33 MbUpSetFtpServerAddressEx

FTP URL を設定します。

```
BOOL MbUpSetFtpServerAddressEx(  
    LPTSTR IpFtpServerAddress,  
    BOOL bDown  
)
```

IpFtpServerAddress

FTP URL を格納しているアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は FTP URL を設定します。

5.1.34 MbUpGetFtpLoginUserEx

FTP ユーザアカウントを取得します。

```
BOOL MbUpGetFtpLoginUserEx(  
    LPTSTR lpFtpLoginUser,  
    BOOL bDown  
)
```

lpFtpLoginUser

FTP ユーザアカウントを格納するアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は FTP ユーザアカウントを取得します。

5.1.35 MbUpSetFtpLoginUserEx

FTP ユーザアカウントを設定します。

```
BOOL MbUpSetFtpLoginUserEx(  
    LPTSTR lpFtpLoginUser,  
    BOOL bDown  
)
```

lpFtpLoginUser

FTP ユーザアカウントを格納しているアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は FTP ユーザアカウントを設定します。

5.1.36 MbUpGetFtpLoginPasswordEx

FTP パスワードを取得します。

```
BOOL MbUpGetFtpLoginPasswordEx(  
    LPTSTR lpFtpLoginPassword,  
    BOOL bDown  
)
```

lpFtpLoginPassword

FTP パスワードを格納するアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は FTP パスワードを取得します。

5.1.37 MbUpSetFtpLoginPasswordEx

FTP パスワードを設定します。

```
BOOL MbUpSetFtpLoginPasswordEx(  
    LPTSTR lpFtpLoginPassword,  
    BOOL bDown  
)
```

lpFtpLoginPassword

FTP パスワードを格納しているアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は FTP パスワードを設定します。

5.1.38 MbUpGetHTTPServerURLEx

HTTP URL を取得します。

```
BOOL MbUpGetHTTPServerURLEx(  
    LPTSTR lpHTTPServerURL,  
    BOOL bDown  
)
```

lpHTTPServerURL

HTTP URL を格納するアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は HTTP URL を取得します。

5.1.39 MbUpSetHTTPServerURLEx

HTTP URL を設定します。

```
BOOL MbUpSetHTTPServerURLEx(  
    LPTSTR  IpHTTPServerURL,  
    BOOL    bDown  
)
```

IpHTTPServerURL

HTTP URL を格納しているアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は HTTP URL を設定します。

5.1.40 MbUpGetSharedServerAddressEx

フォルダ共有 UNC を取得します。

```
BOOL MbUpGetSharedServerAddressEx(  
    LPTSTR IpSharedServerAddress,  
    BOOL bDown  
)
```

IpSharedServerAddress

フォルダ共有 UNC を格納するアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード
FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はフォルダ共有 UNC を取得します。

5.1.41 MbUpSetSharedServerAddressEx

フォルダ共有 UNC を設定します。

```
BOOL MbUpSetSharedServerAddressEx(  
    LPTSTR IpSharedServerAddress,  
    BOOL bDown  
)
```

IpSharedServerAddress

フォルダ共有 UNC を格納しているアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード
FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はフォルダ共有 UNC を設定します。

5.1.42 MbUpGetSharedLoginUserEx

フォルダ共有ユーザアカウントを取得します。

```
BOOL MbUpGetSharedLoginUserEx(  
    LPTSTR lpzShareLoginUser,  
    BOOL bDown  
)
```

lpzShareLoginUser

フォルダ共有ユーザアカウントを格納するアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はフォルダ共有ユーザアカウントを取得します。

5.1.43 MoUpSetSharedLoginUserEx

フォルダ共有ユーザアカウントを設定します。

```
BOOL MoUpSetSharedLoginUserEx(  
    LPTSTR lpzShareLoginUser,  
    BOOL bDown  
)
```

lpzShareLoginUser

フォルダ共有ユーザアカウントを格納しているアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はフォルダ共有ユーザアカウントを設定します。

5.1.44 MbUpGetSharedLoginPasswordEx

フォルダ共有パスワードを取得します。

```
BOOL MbUpGetSharedLoginPasswordEx(  
    LPTSTR lpzShareLoginPassword,  
    BOOL bDown  
)
```

lpzShareLoginPassword

フォルダ共有パスワードを格納するアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はフォルダ共有パスワードを取得します。

5.1.45 MoUpSetSharedLoginPasswordEx

フォルダ共有パスワードを設定します。

```
BOOL MoUpSetSharedLoginPasswordEx(  
    LPTSTR lpzShareLoginPassword,  
    BOOL bDown  
)
```

lpzShareLoginPassword

フォルダ共有パスワードを格納しているアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数はフォルダ共有パスワードを設定します。

5.1.46 MbUpGetLMWinDeviceEx

LMWIN デバイスを取得します。

```
BOOL MbUpGetLMWinDeviceEx(  
    LPTSTR lpLMWinDevice,  
    BOOL bDown  
)
```

lpLMWinDevice

LMWIN デバイスをあらわす文字列を格納するアドレスを指定します。

"COM1" :シリアルを使用
"IRDA" :赤外線を使用
"LAN" :LAN(無線 LAN 含む)を使用
"USB" :USB を使用

bDown

TRUE :ダウンロード
FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は LMWIN デバイスを取得します。

5.1.47 MoUpSetLMWinDeviceEx

LMWIN デバイスを設定します。

```
BOOL MoUpSetLMWinDeviceEx(  
    LPTSTR lpLMWinDevice,  
    BOOL bDown  
)
```

lpLMWinDevice

LMWIN デバイスをあらわす文字列を格納しているアドレスを指定します。

"COM1" :シリアルを使用
"IRDA" :赤外線を使用
"LAN" :LAN(無線 LAN 含む)を使用
"USB" :USB を使用

bDown

TRUE :ダウンロード
FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は LMWIN デバイスを設定します。

5.1.48 MoUpGetLMWinServerAddressEx

LMWIN サーバアドレスを取得します。

```
BOOL MoUpGetLMWinServerAddressEx (  
    LPTSTR IpLMWinServerAddress,  
    BOOL bDown  
)
```

IpLMWinServerAddress

LMWIN サーバアドレスを格納するアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は LMWIN サーバアドレスを取得します。

5.1.49 MoUpSetLMWinServerAddressEx

LMWIN サーバアドレスを設定します。

```
BOOL MoUpSetLMWinServerAddressEx (  
    LPTSTR IpLMWinServerAddress,  
    BOOL bDown  
)
```

IpLMWinServerAddress

LMWIN サーバアドレスを格納しているアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は LMWIN サーバアドレスを設定します。

5.1.50 MbUpGetLMWinComSettingEx

LMWIN COM 通信速度を取得します。

```
BOOL MbUpGetLMWinComSettingEx (  
    LPTSTR lpLMWinComSetting,  
    BOOL bDown  
)
```

lpLMWinComSetting

LMWIN COM 通信速度を格納するアドレスを指定します。

"LMWin_B1200"	:1200BPS
"LMWin_B2400"	:2400BPS
"LMWin_B4800"	:4800BPS
"LMWin_B9600"	:9600BPS
"LMWin_B19K"	:19200BPS
"LMWin_B38K"	:38400BPS
"LMWin_B57K"	:57600BPS
"LMWin_B115K"	:115200BPS

bDown

TRUE	:ダウンロード
FALSE	:アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は LMWIN COM 通信速度を取得します。

5.1.51 MbUpSetLMWinComSettingEx

LMWIN COM 通信速度を設定します。

```
BOOL MbUpSetLMWinComSettingEx (  
    LPTSTR lpLMWinComSetting,  
    BOOL bDown  
)
```

lpLMWinComSetting

LMWIN COM 通信速度を格納しているアドレスを指定します。

"LMWin_B1200"	:1200BPS
"LMWin_B2400"	:2400BPS
"LMWin_B4800"	:4800BPS
"LMWin_B9600"	:9600BPS
"LMWin_B19K"	:19200BPS
"LMWin_B38K"	:38400BPS
"LMWin_B57K"	:57600BPS
"LMWin_B115K"	:115200BPS

bDown

TRUE	:ダウンロード
FALSE	:アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は LMWIN COM 通信速度を設定します。

5.1.52 MbUpGetLMWinRoutePathEx

LMWIN ルートパスを取得します。

```
BOOL MbUpGetLMWinRoutePathEx(  
    LPTSTR lpszLMWinRoutePath,  
    BOOL bDown  
)
```

lpszLMWinRoutePath

LMWIN ルートパスを格納するアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は LMWIN ルートパスを取得します。

5.1.53 MoUpSetLMWinRoutePathEx

LMWIN ルートパスを設定します。

```
BOOL MoUpSetLMWinRoutePathEx(  
    LPTSTR lpzLMWinRoutePath,  
    BOOL bDown  
)
```

lpzLMWinRoutePath

LMWIN ルートパスを格納しているアドレスを指定します。

bDown

TRUE :ダウンロード

FALSE :アップロード

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

本関数は LMWIN ルートパスを設定します。